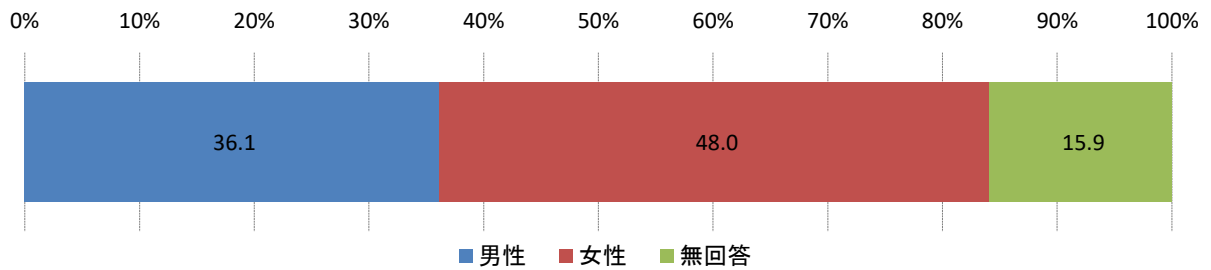
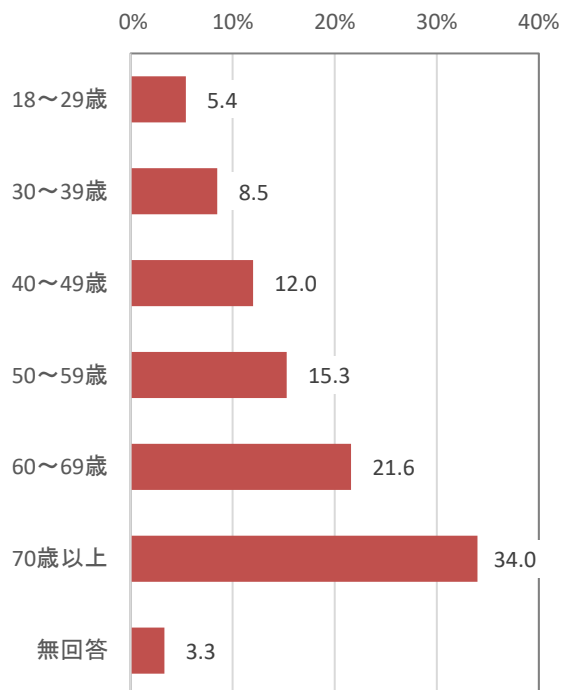


最初に、あなた自身のことについて伺います

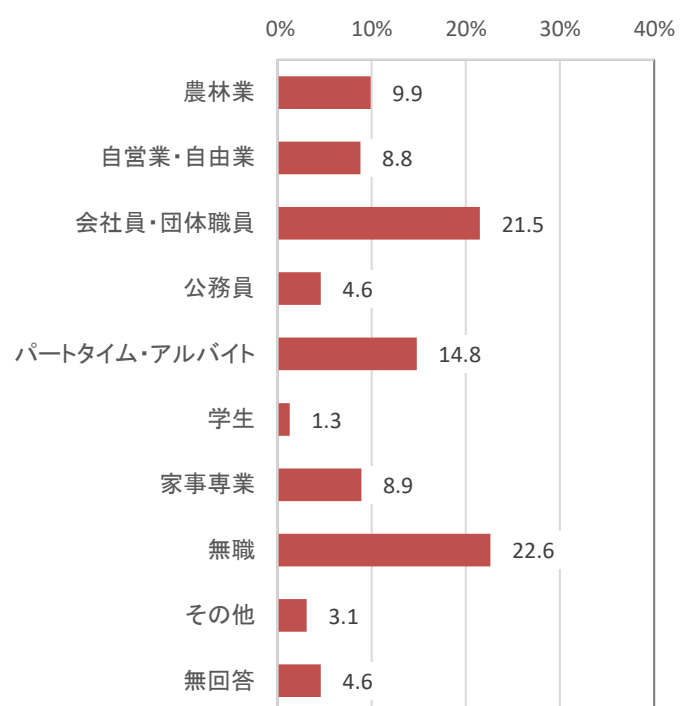
性別



年齢

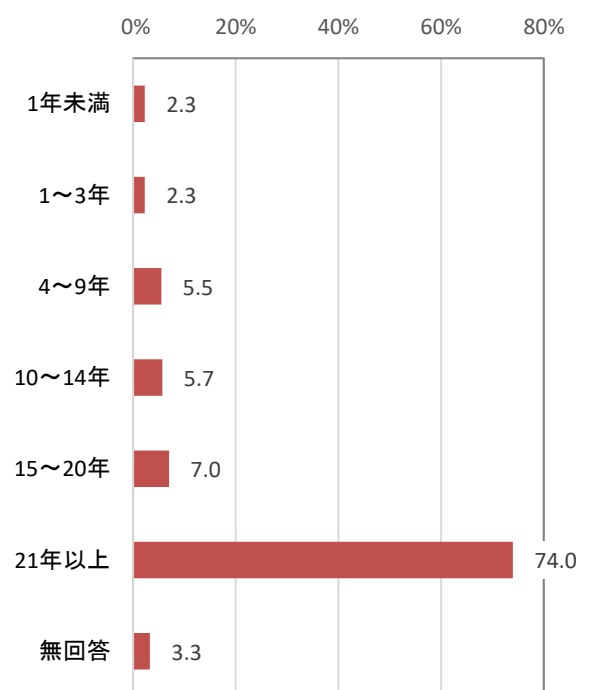
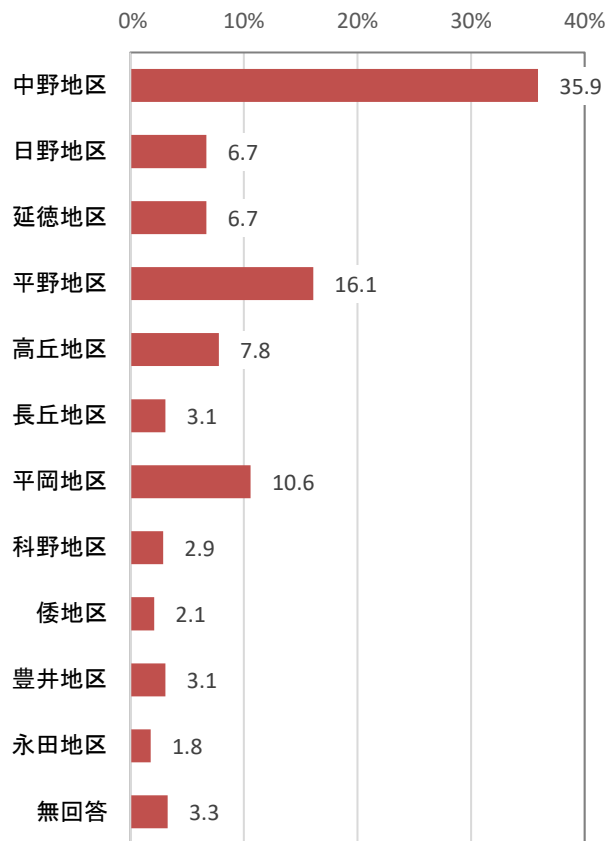


職業

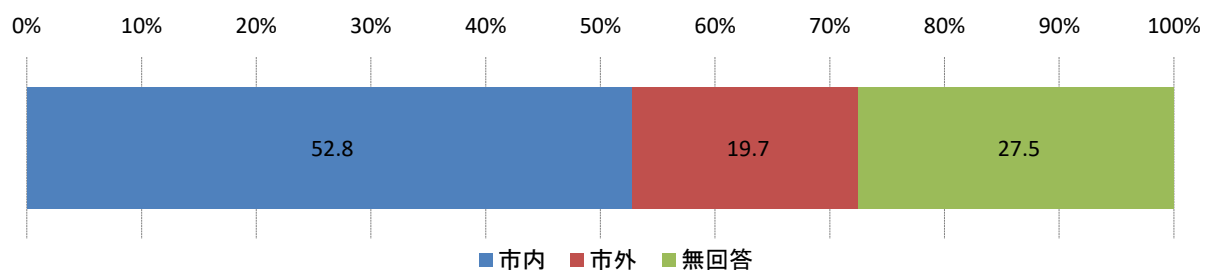


居住地区(小学校区)

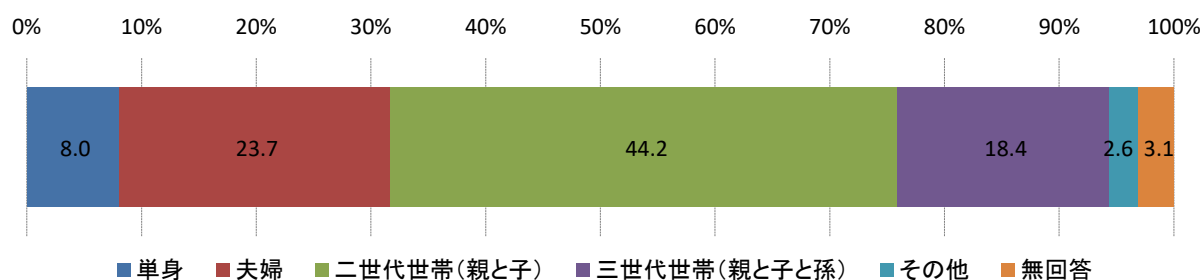
中野市での居住歴



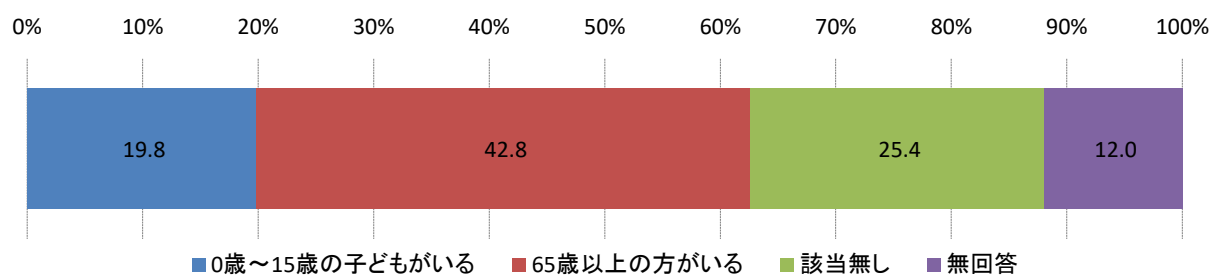
仕事の場所(学業を含む)



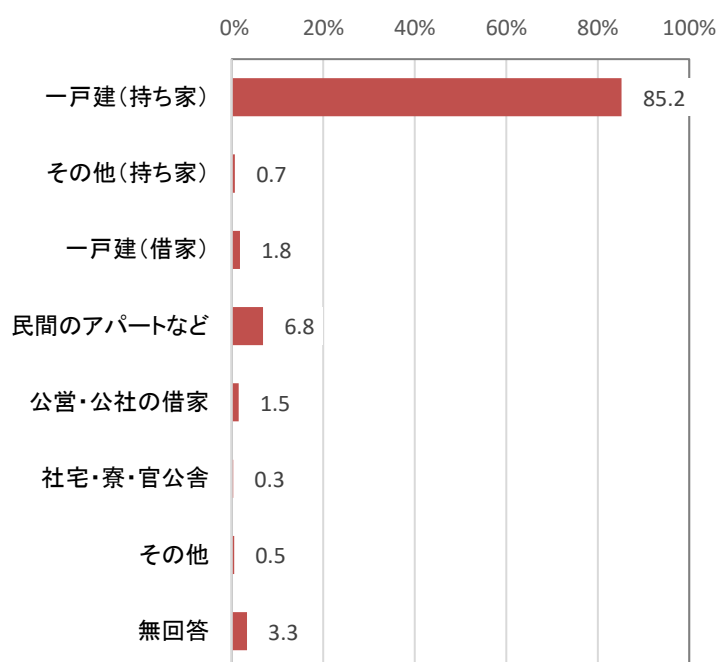
家族構成



世帯の状況



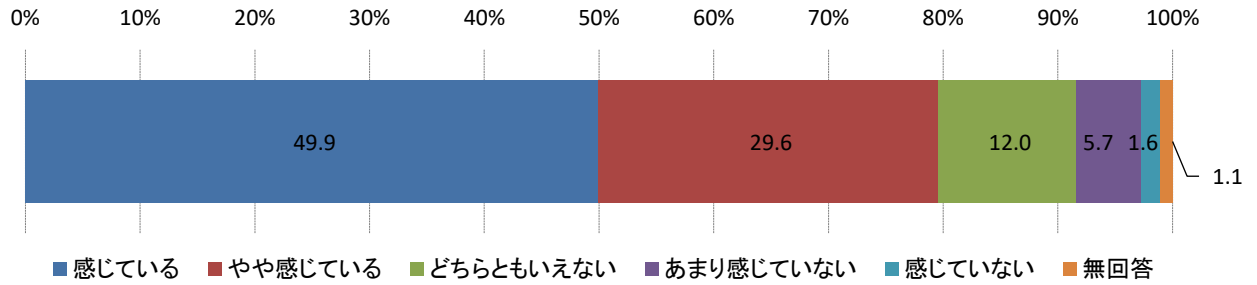
お住まい



満足度調査

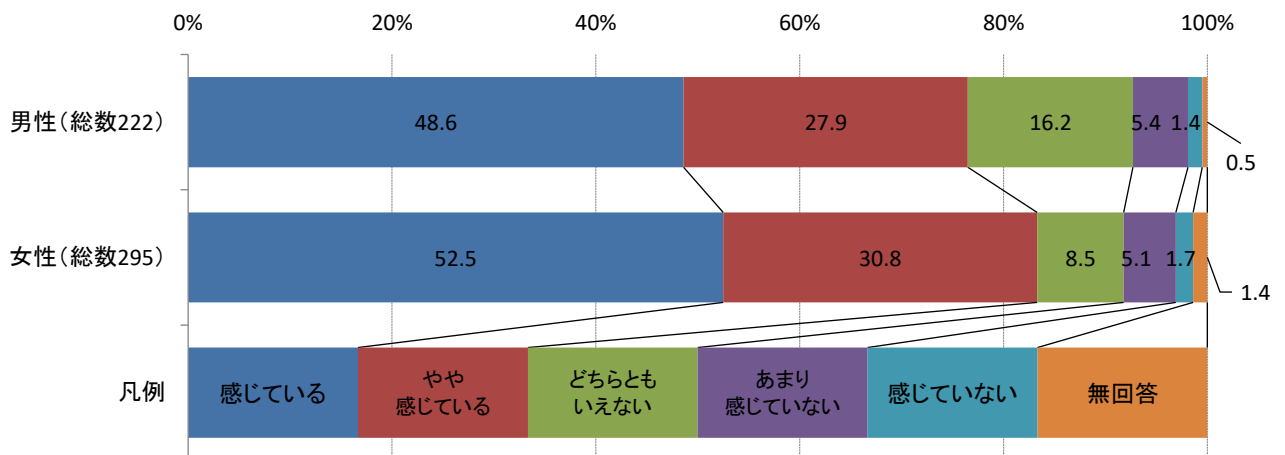
問1 あなたは、中野市に愛着を感じますか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)

中野市への愛着(総数 615、単位%)



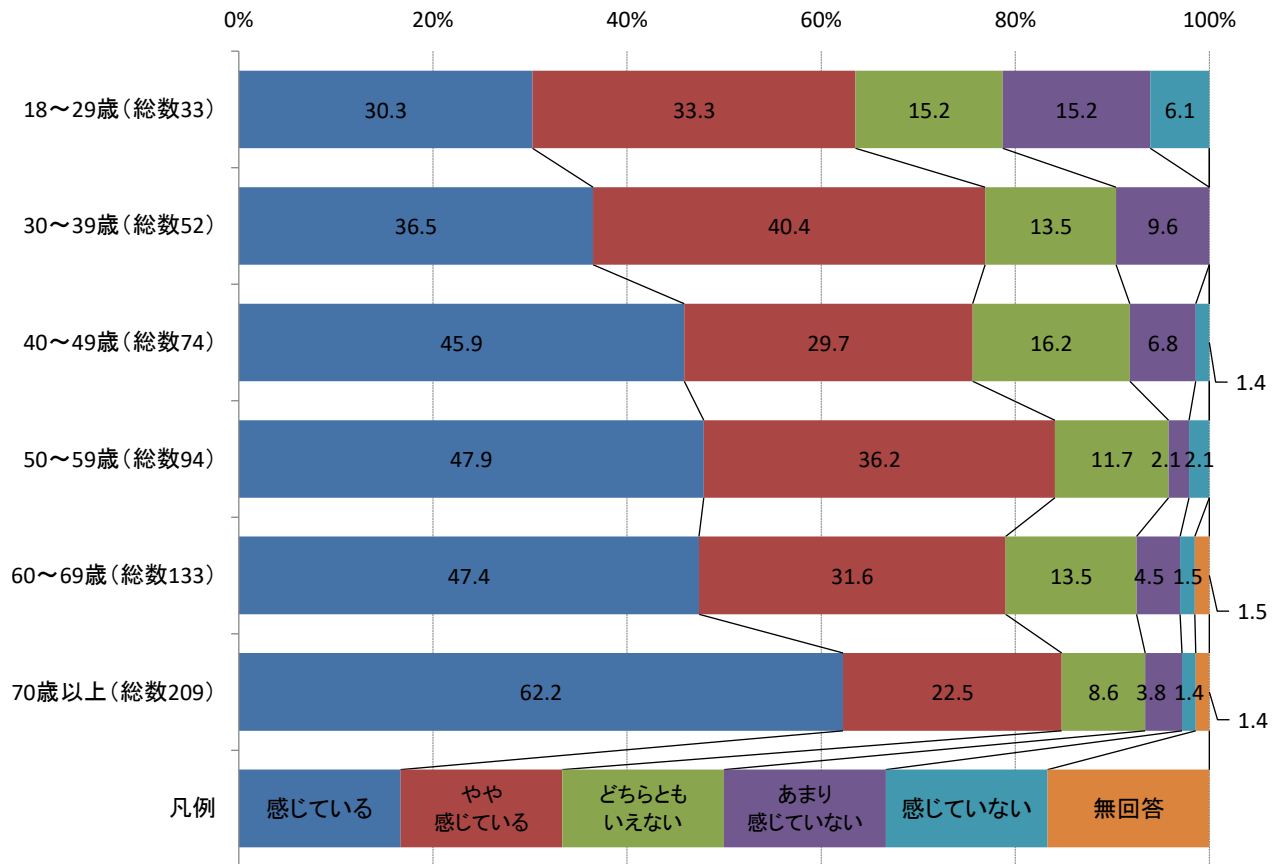
●「感じる」が49.9%で最も高く、「やや感じる」29.6%と合わせると79.5%が愛着を感じていると回答している。【前回調査(平成29年10月)】と較べると、「感じる」が+3.4ポイント、「やや感じる」が+1.6ポイント、合わせて+5.0ポイントとなっている。

男女別・中野市への愛着(単位%)



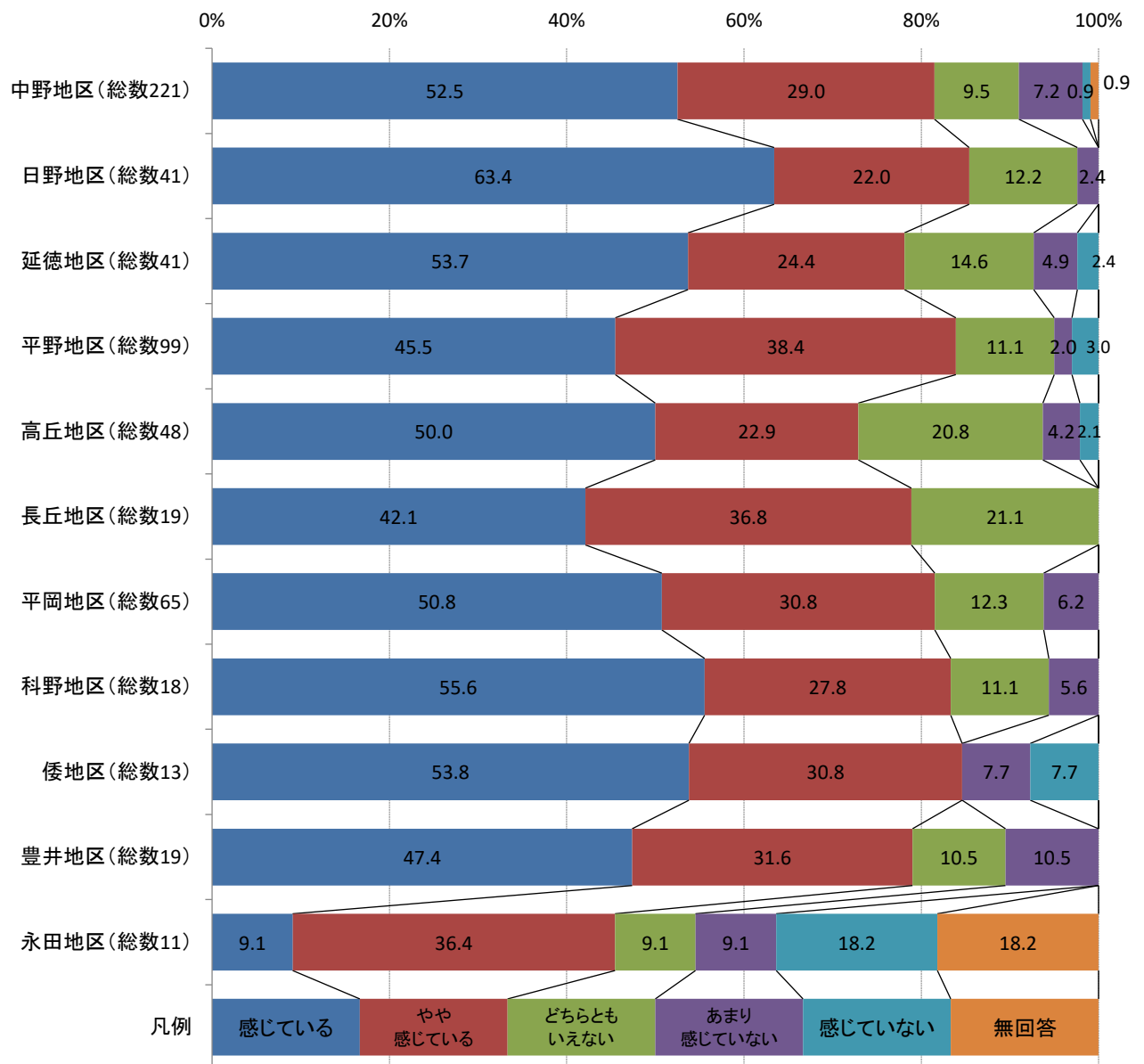
●「感じる」は男性が48.6%、女性が52.5%、「やや感じる」と合わせると男性が76.5%、女性が83.3%で、男女でやや差異がみられる。

年齢別・中野市への愛着(単位%)



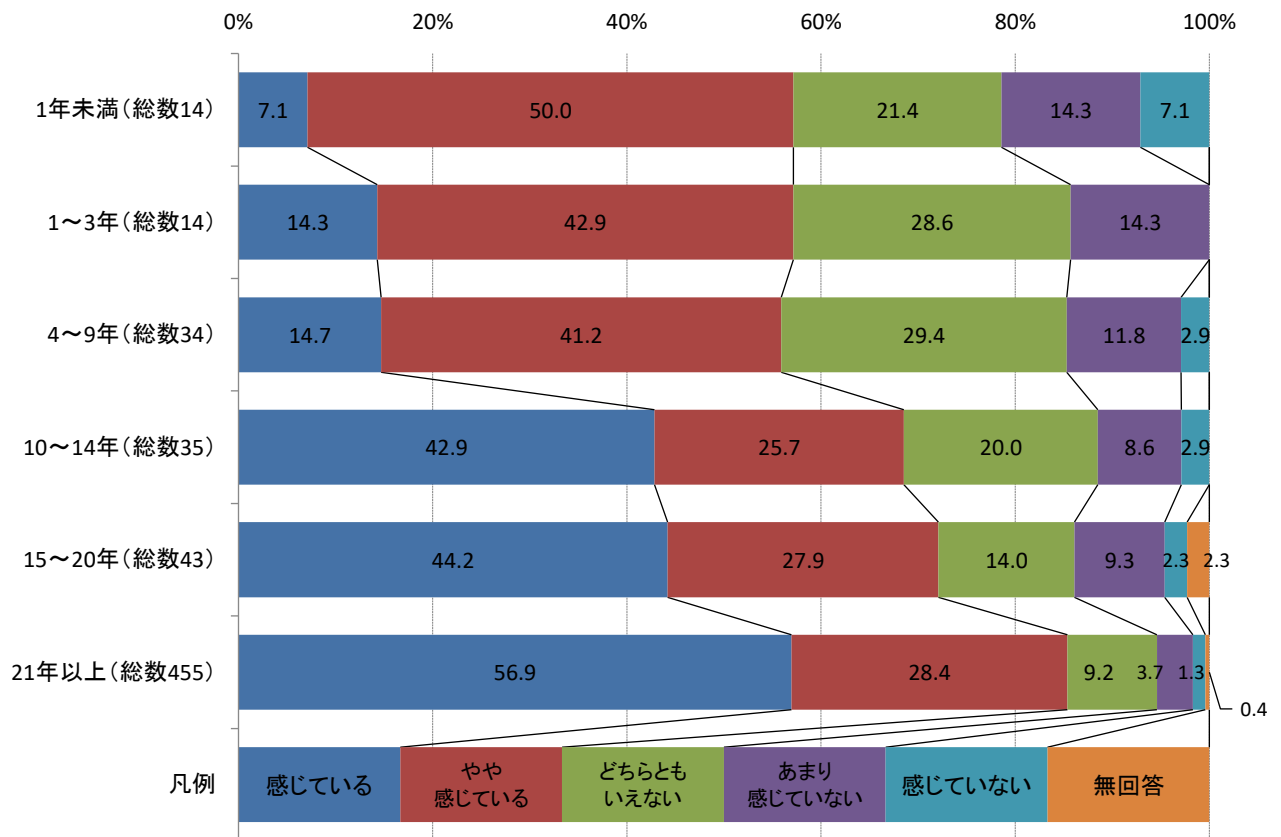
●全体的に年代が上がるほど愛着が高く、「18～29 歳」が「感じている」30.3%であるのに対して、回答総数の多い「50～59 歳」で47.9%、「60～69 歳」では47.4%となっている。また、「感じていない」「あまり感じていない」を合わせた割合をみると、ほぼ年代が上がるほど減少していく傾向にあるが、回答総数の多い「60～69 歳」では6.0%で、「50～59 歳」の4.2%を上回っている。回答総数が少ない「70 歳以上」では5.2%となっている。

居住地区別・中野市への愛着(単位%)



●「感じている」と「やや感じている」を合わせると、「日野地区」が最も高く 85.4%、次いで「倭地区」84.6%、「平野地区」83.9%、逆に「あまり感じていない」と「感じていない」を合わせると、「永田地区」27.3%、「倭地区」15.4%などとなっている。

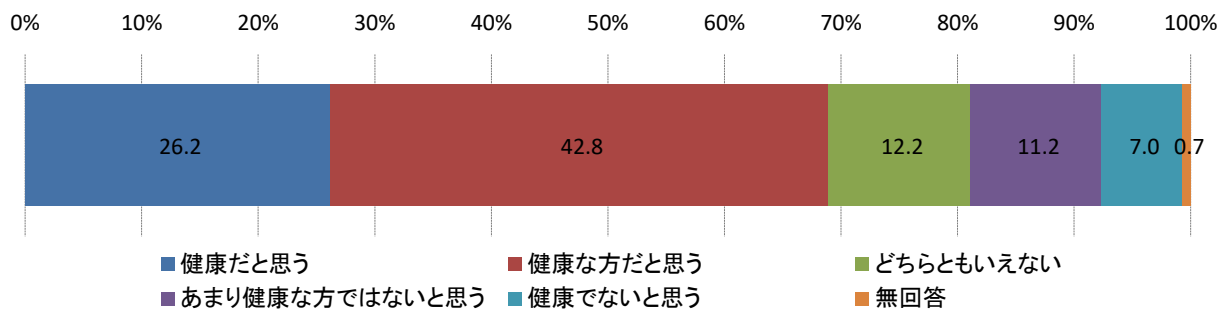
居住歴別・中野市への愛着(単位%)



●居住歴の長さにほぼ比例して愛着の度合いは高まっている。「感じている」をみると、「1年未満」の7.1%が年数とともに増加し、「21年以上」では56.9%となっている。

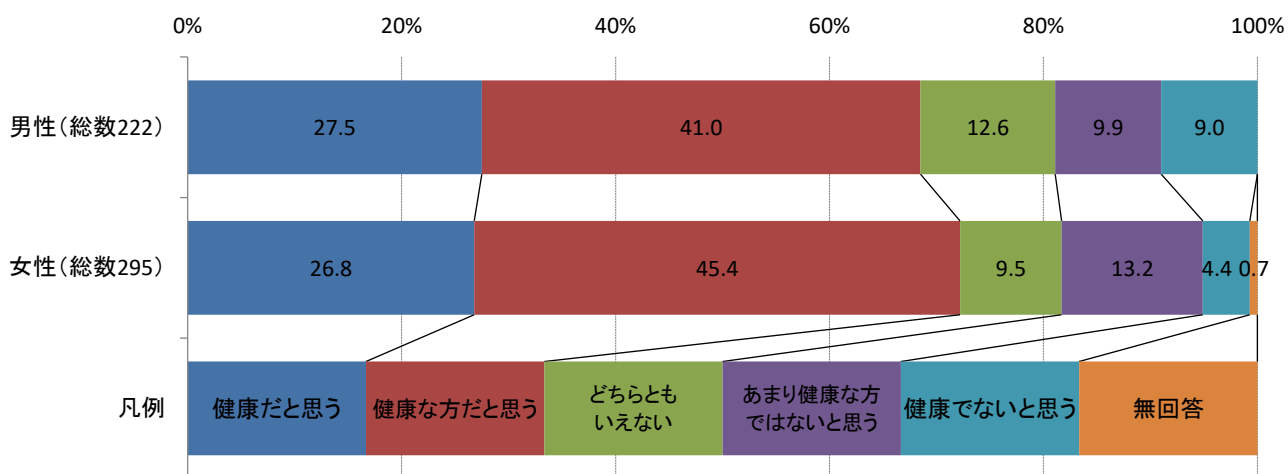
問2 あなたは今、健康だと思いますか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)

あなたの健康度(総数 615、単位%)



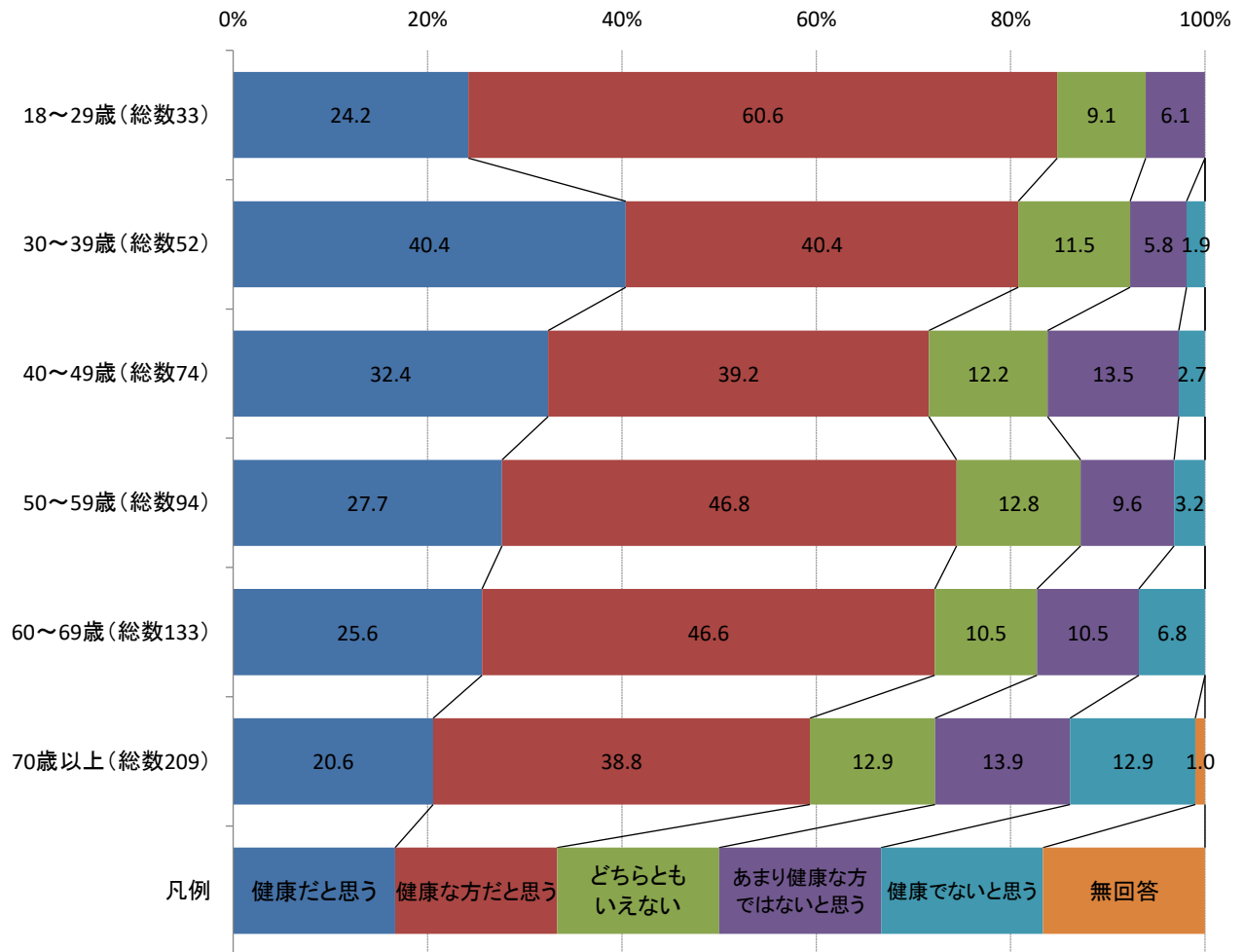
●「健康な方だと思う」が42.8%で最も高く、次いで「健康だと思う」が26.2%、合わせて69.0%が健康と答えている。【前回調査では「健康だと思う」21.7%、「健康な方だと思う」47.7%、合わせて69.4%で前回と較べると-0.4ポイントとなっている。】

男女別・あなたの健康度(単位%)



●「健康だと思う」「健康な方だと思う」を合わせると、男性が68.5%、女性が72.2%で、女性が男性を3.7ポイント上回っている。

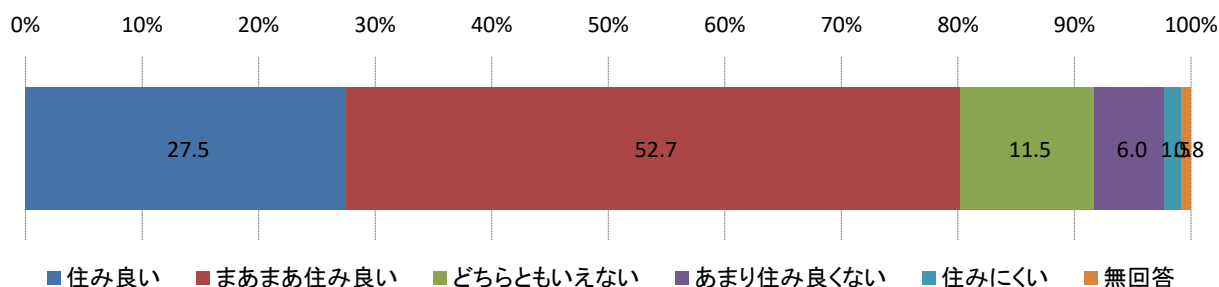
年齢別・あなたの健康度(単位%)



●「健康だと思う」と「健康な方だと思う」を合わせると、年代に比例して割合はほぼ低下傾向にあるが、働き盛りであると思われる「40～49 歳」で 71.6%と、「50～59 歳」の 74.5%及び「60～69 歳」の 72.2%と較べひずみが見える。

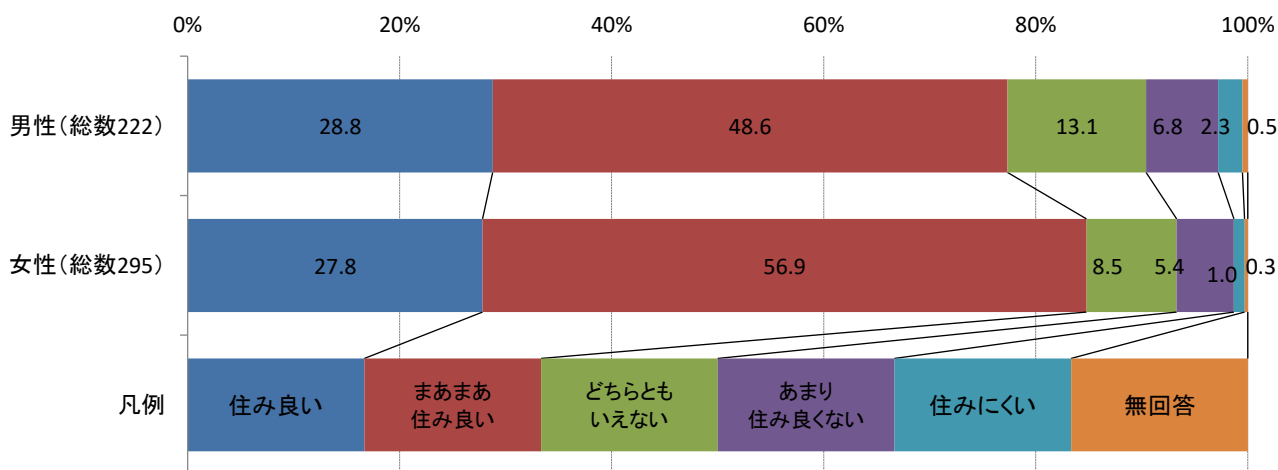
問3 あなたにとって中野市は、どの程度住み良いですか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)

中野市の住み良さ(総数 615、単位%)



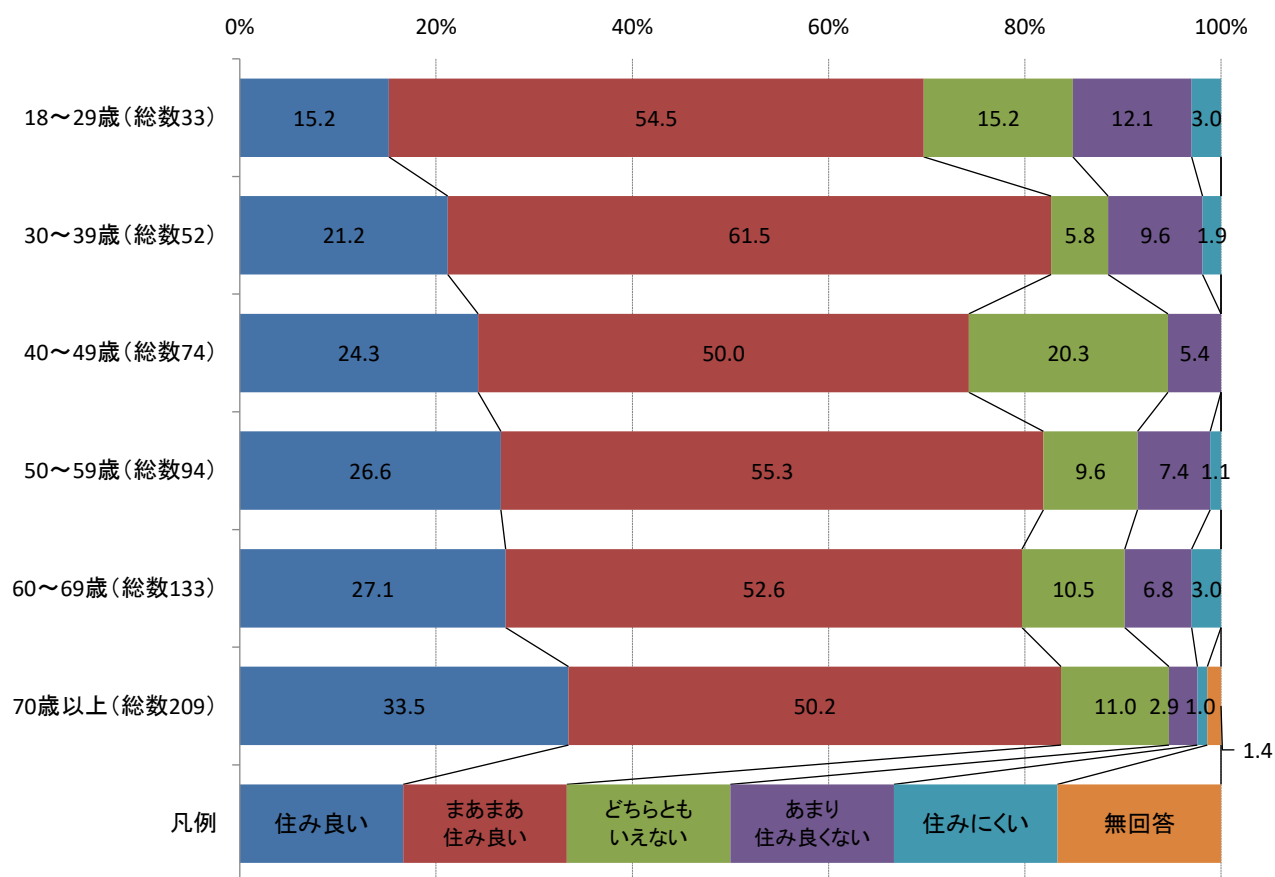
●「住み良い」27.5%、「まあまあ住み良い」52.7%で、合わせて80.2%が住み良いと回答している。
【前回調査(平成29年10月)】と較べると、「住み良い」が+2.2ポイント、「まあまあ住み良い」が-1.5ポイント、合わせて+0.7ポイントとなっている。】

男女別・中野市の住み良さ(単位%)



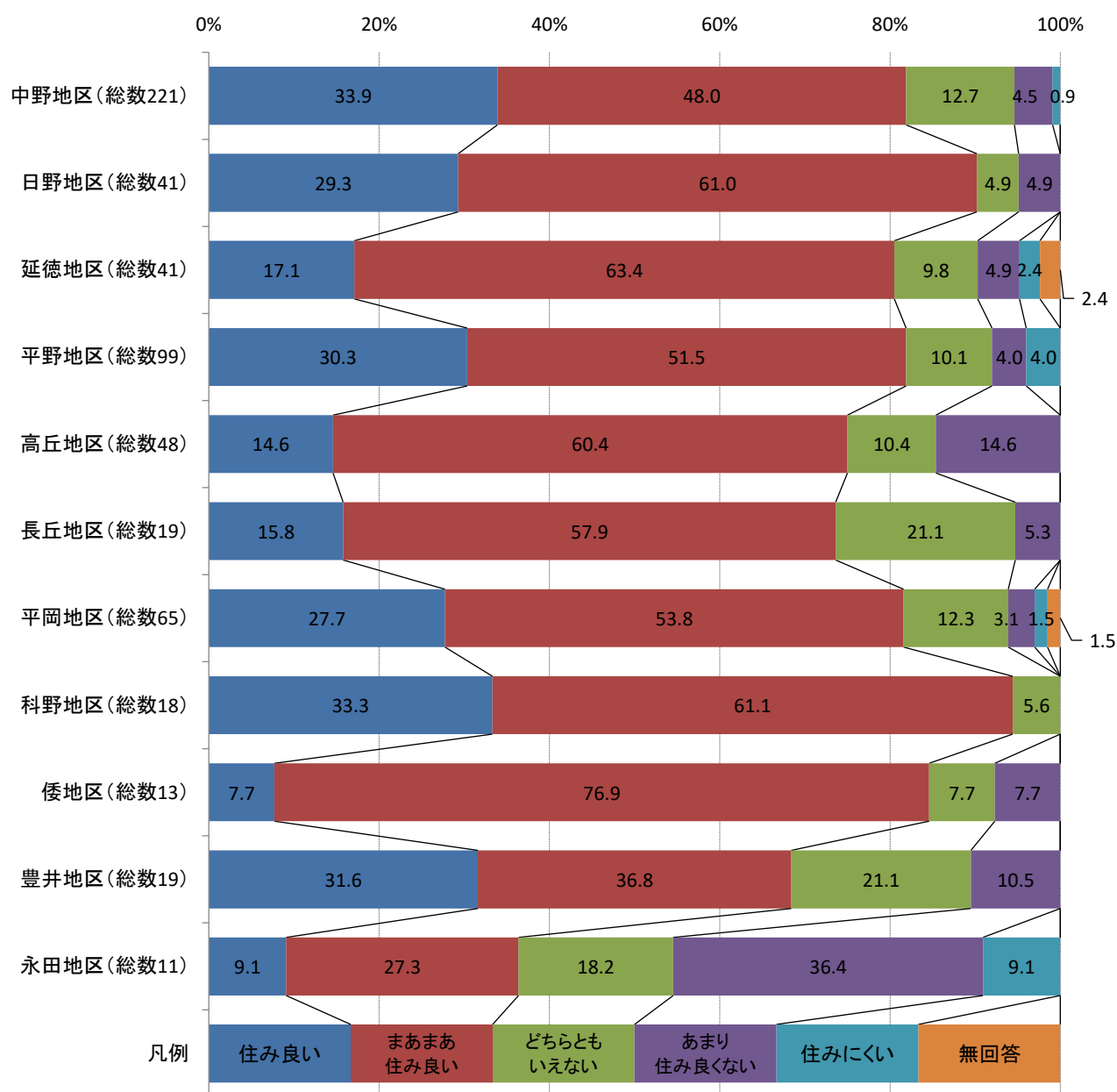
●「住み良い」「まあまあ住み良い」合わせると、男性77.4%、女性84.7%と、女性の方が7.3ポイント上回っている。男女でやや開きが見られる。

年齢別・中野市の住み良さ(単位%)



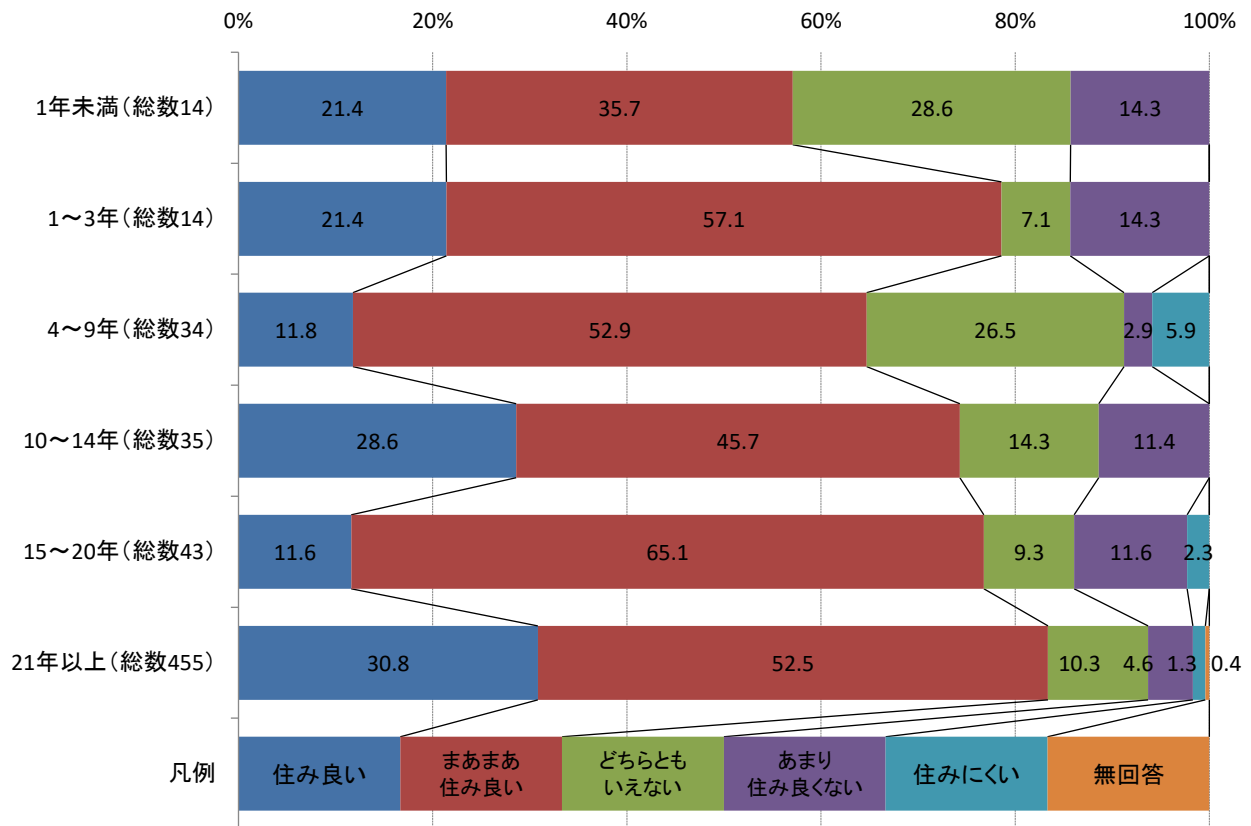
●「住み良い」「まあまあ住み良い」合わせると、「70歳以上」が83.7%で最も高く、これに「30～39歳」82.7%、「50～59歳」81.9%が続いている。また、「18～29歳」が最も低く、69.7%となっている。年代の上下に伴う傾向ははっきりとしていない。

居住地区別・中野市の住み良さ(単位%)



●「住み良い」「まあまあ住み良い」合わせると、「科野地区」が94.4%で最も高く、次いで「日野地区」90.3%、「倭地区」84.6%、「平野地区」81.8%、「平岡地区」81.5%などとなっている。逆に低いのは「永田地区」で36.4%となっている。

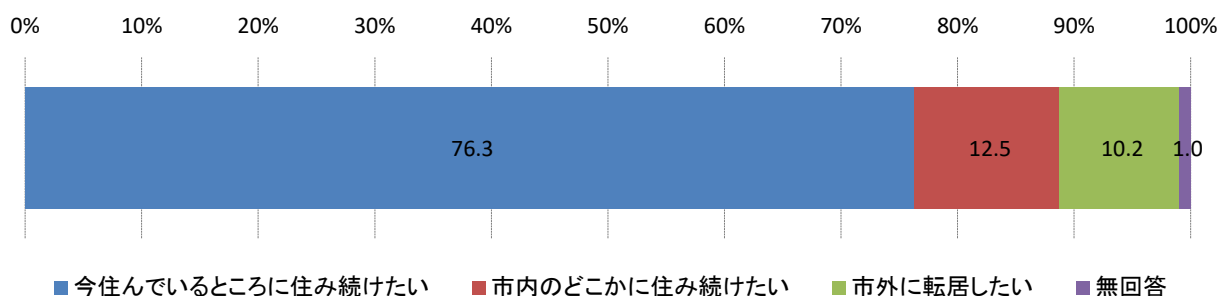
居住歴別・中野市の住み良さ(単位%)



●居住歴が長いほど、「住み良い」と「まあまあ住み良い」を合わせた割合が高くなる傾向にあるが、「1～3年」が78.5%と、「21年以上」83.3%に次いでいる。「4～9年」で64.7%と一旦下るが、「15～20年」で76.7%と上昇している。また、「住み良い」に限ってみると、「21年以上」は30.8%で最も高く、これに「10～14年」の28.6%が次いでいる。

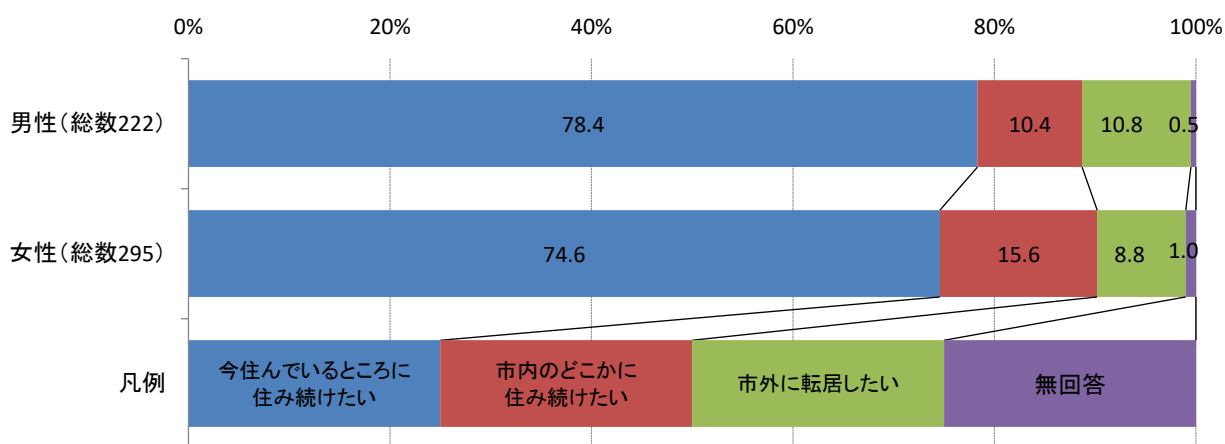
問4 あなたは、中野市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)

中野市への定住意向(総数 615、単位%)



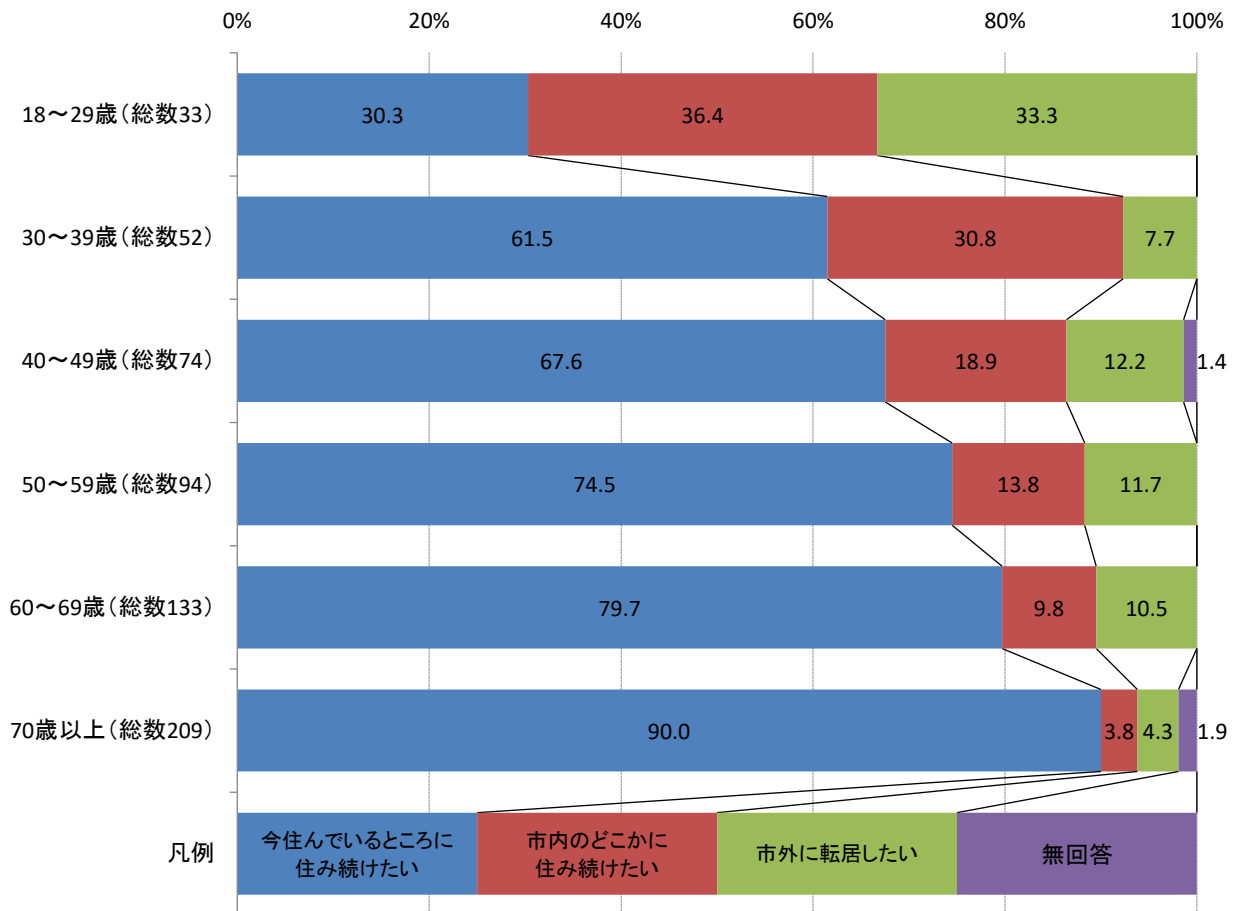
●「今住んでいるところに住み続けたい」が76.3%、「市内のどこかに住み続けたい」が12.5%、「市外に転居したい」が10.2%となっています。【前回調査(平成29年10月)】と較べると、今住んでいるところに住み続けたい」+6.1ポイント、「市内のどこかに住み続けたい」が-0.7ポイント、「市外に転居したい」は-2.4ポイントとなっている。】

男女別・中野市への定住意向(単位%)



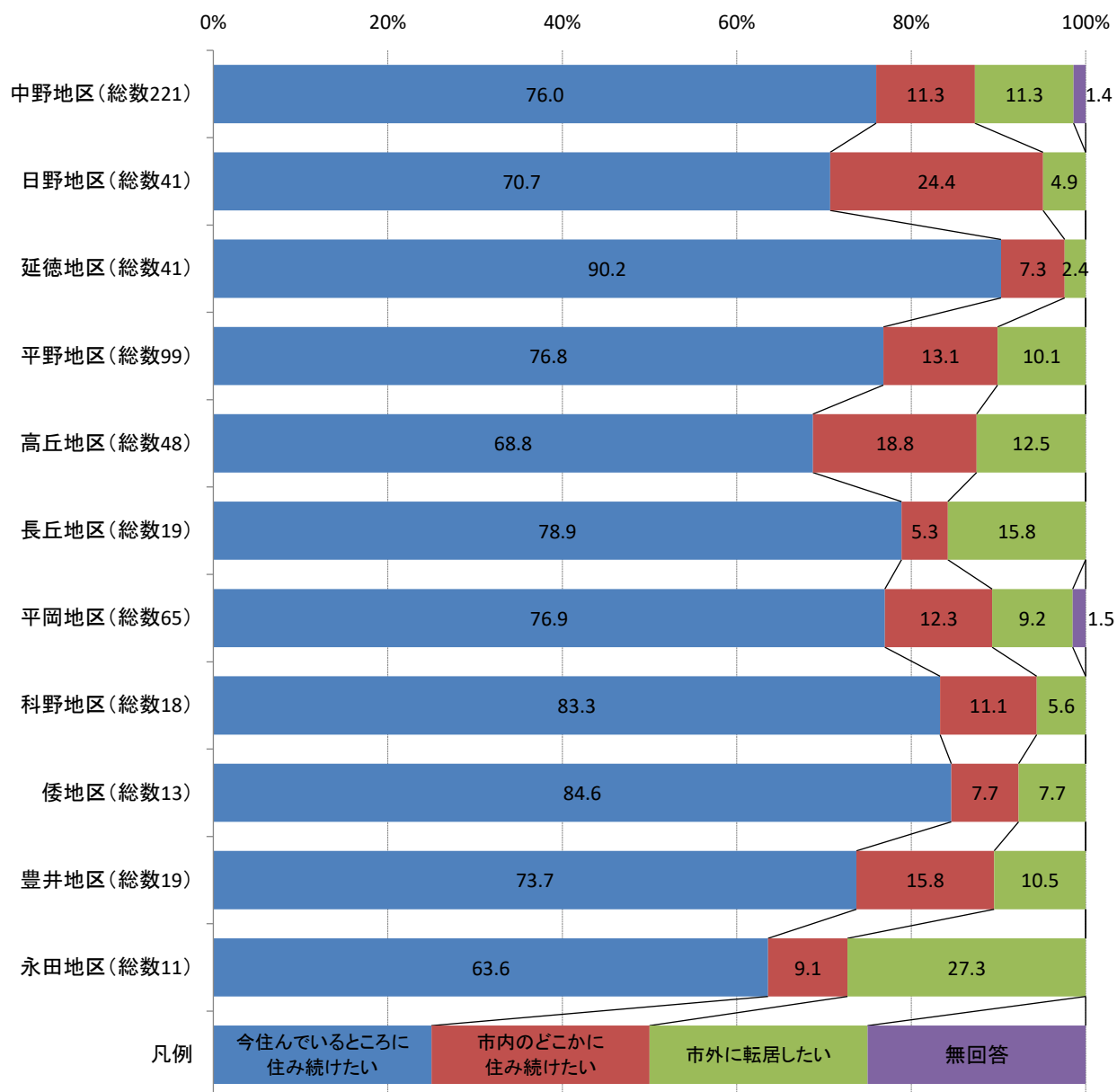
●「今住んでいるところに住み続けたい」は男性が78.4%、女性が74.6%、「市内のどこかに住み続けたい」は男性が10.4%、女性が15.6%となっている。「市外に転居したい」では男性が10.8%、女性は8.8%で男性がやや上回っている。

年齢別・中野市への定住意向(単位%)



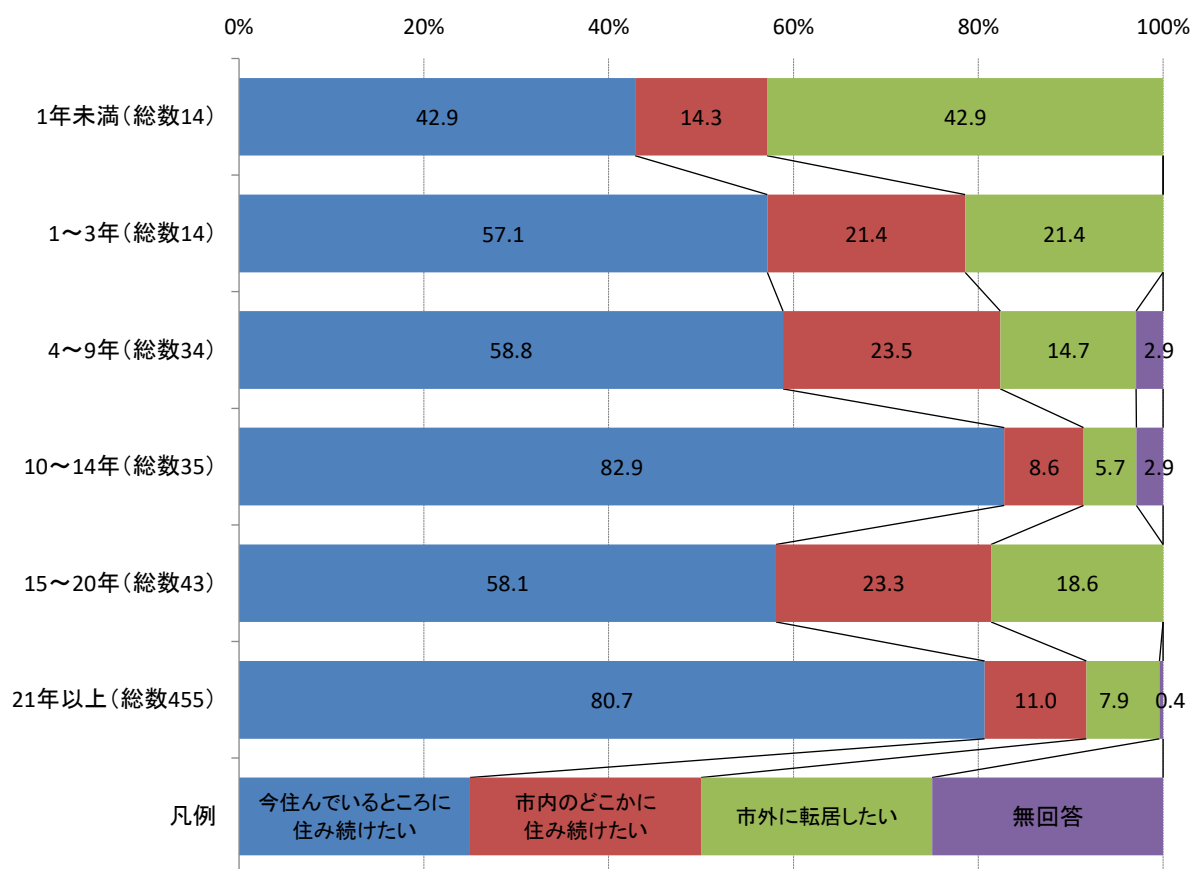
●中野市への定住意向は全体として年代とともに高まり、「今住んでいるところに住み続けたい」をみると、「18～29歳」が30.3%であるのに対し「70歳以上」では90.0%となっています。ただし、「市内のどこかに住み続けたい」は「18～29歳」が36.4%で最も高く、次いで「30～39歳」が30.8%となっている。また、「市外に転居したい」は「18～29歳」で33.3%と高くなっている。

居住地区別・中野市への定住意向(単位%)



●「今住んでいるところに住みたい」と「市内のどこかに住みたい」を合わせると、定住意向が最も高いのは「延徳地区」で97.5%、次いで「日野地区」95.1%、「科野地区」が94.4%などとなっている。これに対し、「市外に転居したい」が高いのは、「永田地区」27.3%、「長丘地区」15.8%、「高丘地区」12.5%などとなっている。

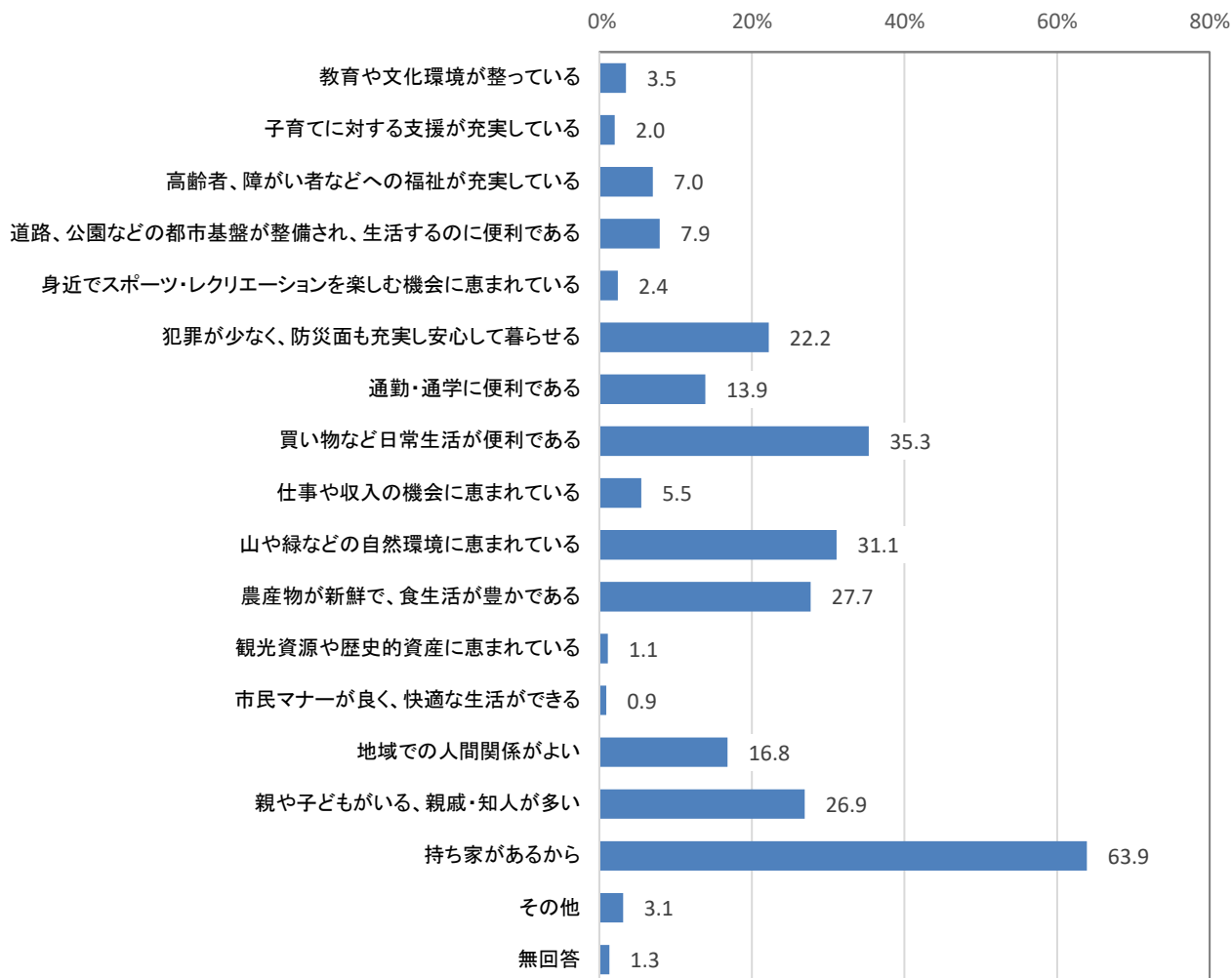
居住歴別・中野市への定住意向(単位%)



●全体として居住歴が長いほど定住傾向が高くなっている。「今住んでいるところに住み続けたい」では「10～14年」が82.9%とかなり高く、「1年未満」が42.9%であるのに対し、「21年以上」では80.7%と上昇傾向を示している。「今住んでいるところに住み続けたい」と「市内のどこかに住み続けたい」を合わせると、「1年未満」が57.2%、「21年以上」では91.7%となっている。「市外に転居したい」は、「1年未満」と「1～3年」が高くなっている。

問4-1 問4で、「1. 今住んでいるところに住み続けたい」または「2. 市内のどこかに住み続けたい」を選んだ方に伺います。住み続けたい主な理由は何ですか。あてはまるものに○をしてください。(○は3つまで)

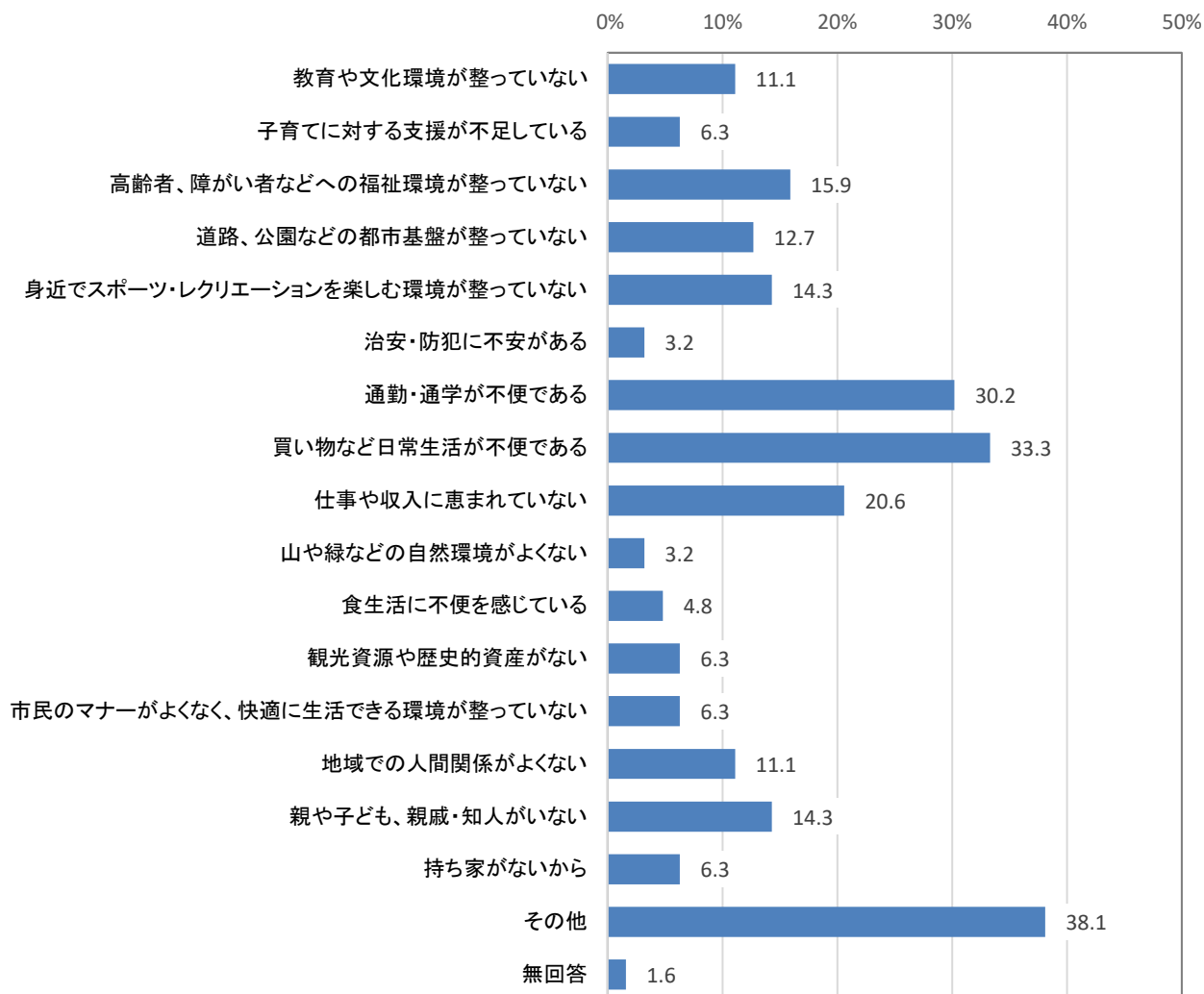
中野市に住み続けたい主な理由(総数 469、単位%、3つまで複数回答)



●中野市に定住したい理由は、「持ち家があるから」が最も多く 63.9%、次いで「買い物など日常生活が便利である」が 35.3%、「山や緑などの自然環境に恵まれている」が 31.1%、「農産物が新鮮で、食生活が豊かである」が 27.7%などとなっている。

問4-2 問4で、「3. 市外に転居したい」を選んだ方に伺います。市外に移りたいという主な理由は何ですか。あてはまるものに○をしてください。(○は3つまで)

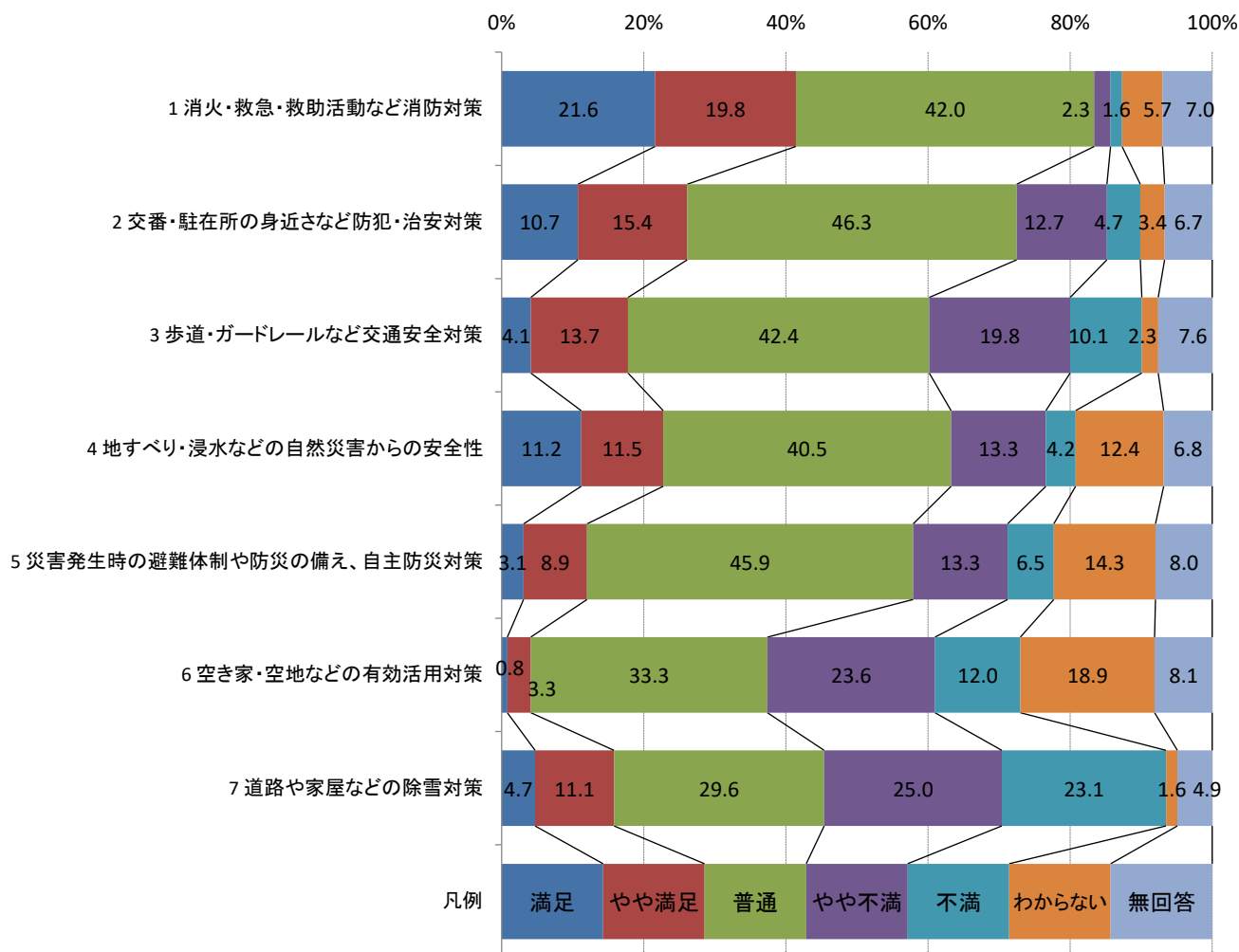
市外に移りたい主な理由(総数 63、単位%、3つまで複数回答)



●市外に移りたい理由は「その他」が 38.1%で最も多く、次いで「買い物など日常生活が不便である」が 33.3%、「通勤・通学が不便である」が 30.2%、「仕事や収入に恵まれていない」が 20.6%などとなっている。

問5 身の回り（あなたが住んでいる小学校区くらいの範囲で）の生活の安全性を考えたとき、どの程度満足していますか。それぞれの項目にあてはまるものに○をしてください。（○は1つ）

身の回りの生活の安全性についての満足度（総数 615、単位%）

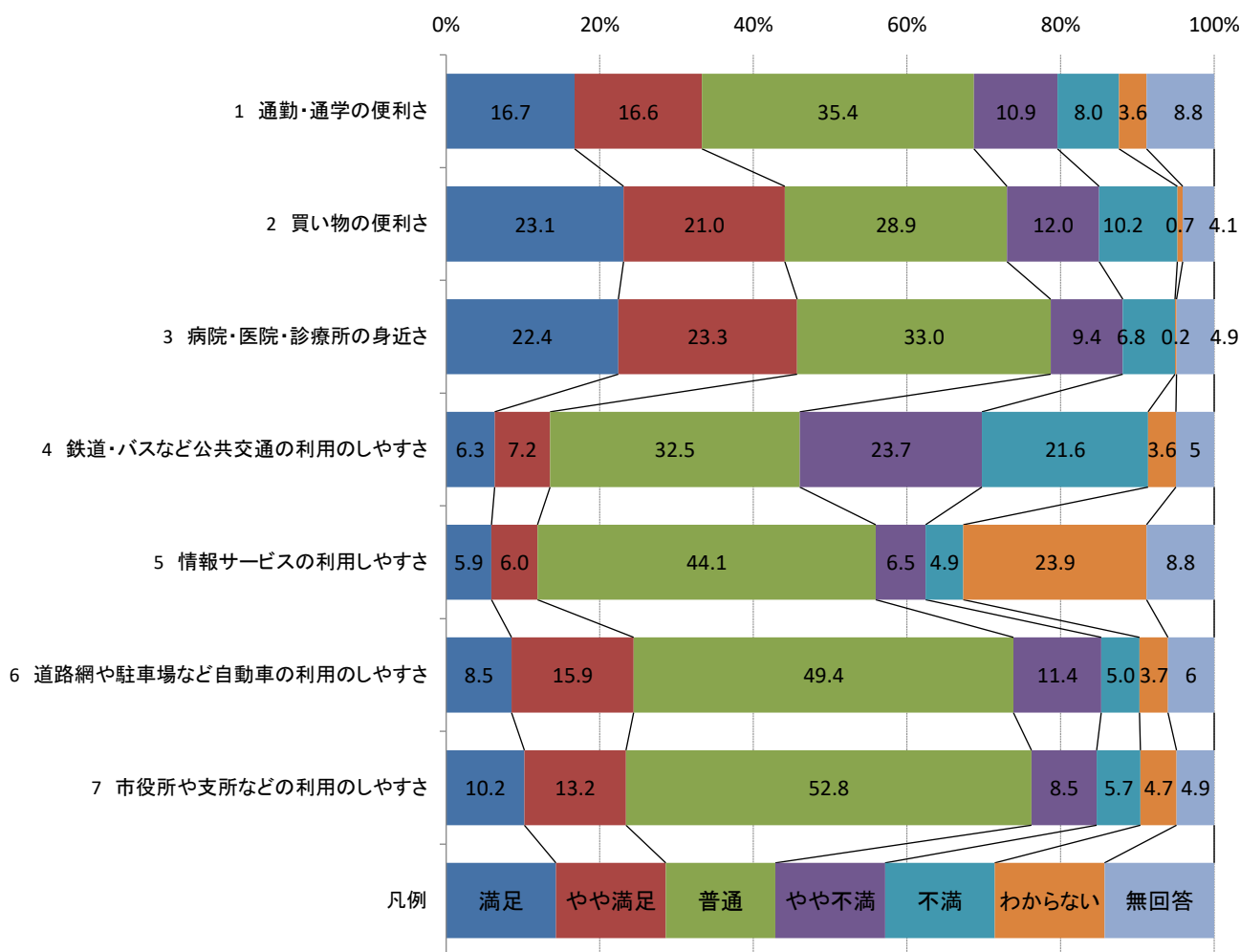


●「満足」「やや満足」を合わせると、「消火・救急・救助活動など消防対策」が41.4%と最も高く、次いで、「交番・駐在所の身近さなど防犯・治安対策」が26.1%、「地すべり・浸水などの自然災害からの安全性」が22.7%などとなっている。【前回調査と比べると、上位3項目の順位は同じで、「消防対策」が-1.8ポイント、「防犯・治安対策」が-0.6ポイント、「自然対策」が-1.8ポイントとなっている】

「やや不満」「不満」を合わせると、「道路や家屋などの除雪対策」が48.1%、「空き家・空地などの有効活用対策」が35.6%、「歩道・ガードレールなど交通安全対策」が29.9%などとなっており、除雪対策の不満度が高くなっている。【前回調査(平成29年10月)】と「やや不満」「不満」の上位3項目は同じで、「除雪対策」が-13.4ポイント、「空き家・空地対策」が-1.4ポイント、「交通安全対策」が-2.8ポイントとなっている。】

問6 身の回り（あなたが住んでいる小学校区くらいの範囲で）の生活の利便性（便利さ）を考えたとき、どの程度満足していますか。それぞれの項目にあてはまるものに○をしてください。（○は1つ）

身の回りの生活の利便性についての満足度（総数 615、単位%）



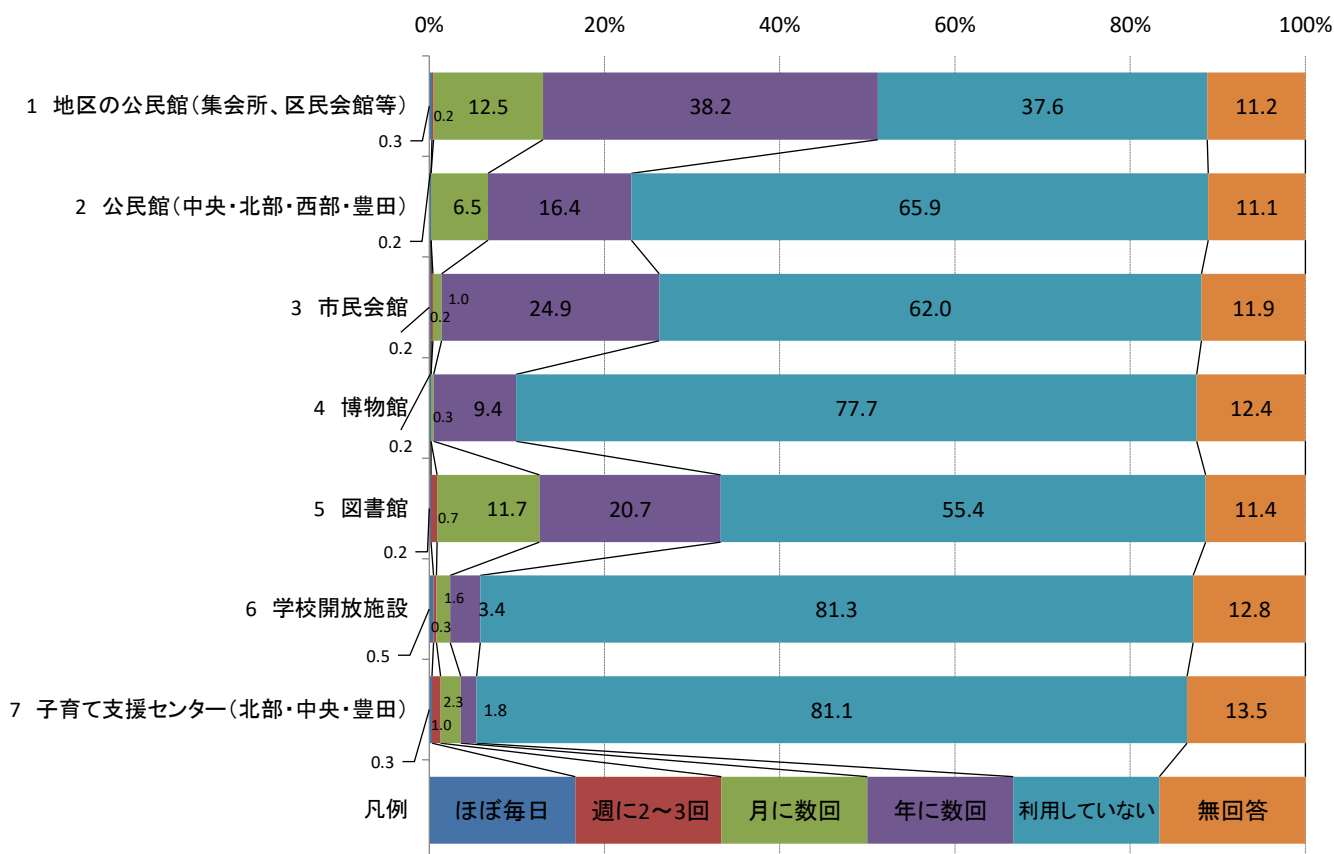
●「満足」「やや満足」を合わせると、「病院・医院・診療所の身近さ」が45.7%と最も高く、次いで「買い物の便利さ」が44.1%などとなっている。【前回調査と比べると、上位3項目のうち「病院・医院・診療所の身近さ」と「買い物の便利さ」とが逆転しているが、「病院」で+6.5ポイント、「買い物」で+2.7ポイントとそれぞれ上昇しており、3位の「通勤通学」も+1.3ポイントと上がっている。】

「やや不満」「不満」を合わせると、「鉄道・バスなど公共交通の利用のしやすさ」が45.3%、「買い物の便利さ」が22.2%、「通勤・通学の便利さ」が18.9%などとなっています。【前回調査（平成29年10月）】と比べると、上位3項目は同じで、「鉄道・バス」が+0.1ポイント、「買い物」が-4.4ポイント、「通勤・通学」が-3.0ポイントとなっている。】

問7 中野市には多くの公共施設があり、様々な行政サービスを提供しています。あなたは、過去1年間に、以下の施設をどのくらい利用しましたか。1～7の施設ごとの「①利用頻度」欄のあてはまるものに○をしてください。(○は1つ)

「①利用頻度」欄で「4. 年に数回」または「5. 利用していない」を選択した場合は、その理由を「②利用していない理由」欄のあてはまるものに○をしてください。(○はいくつでも)

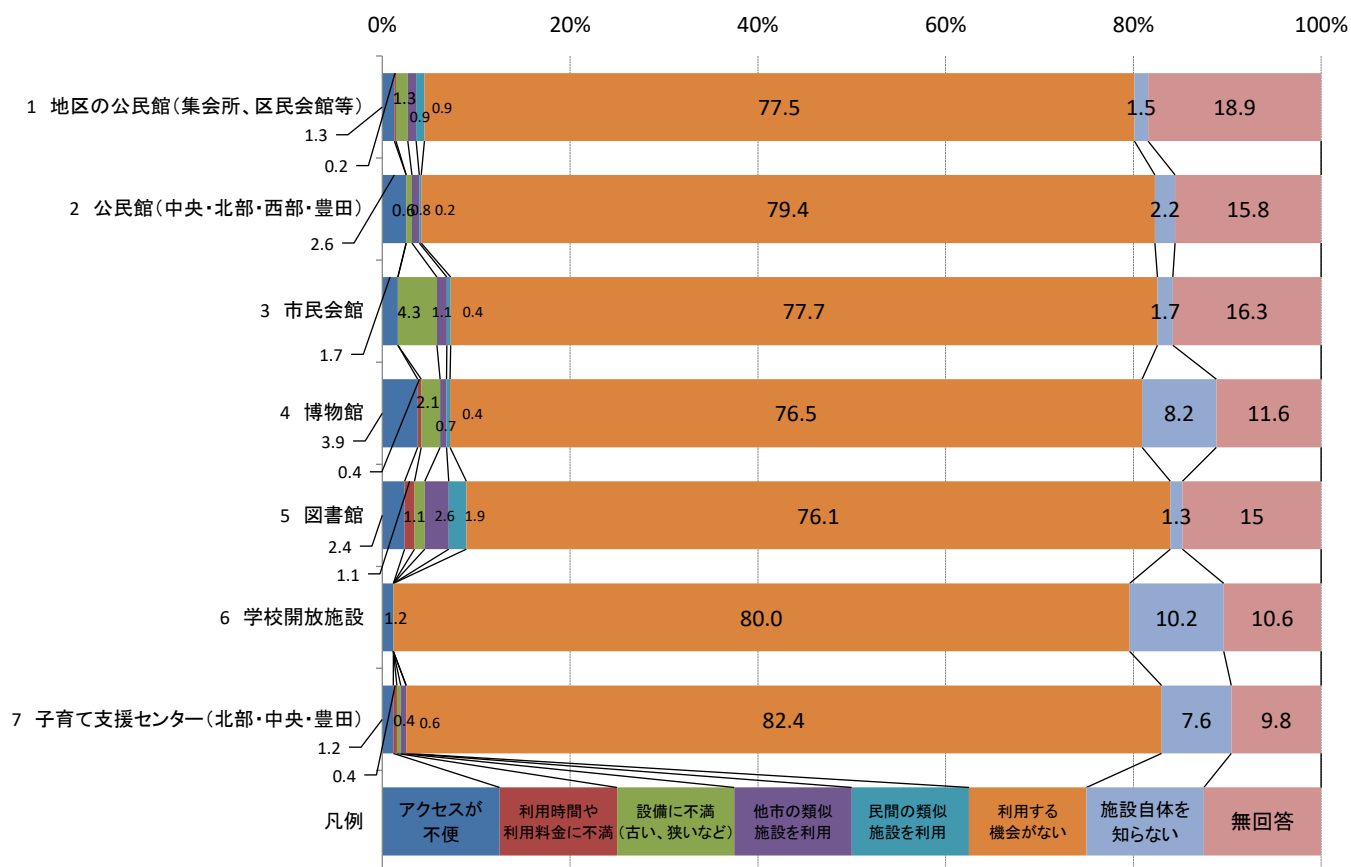
公共施設の利用頻度(総数 615、単位%)



●公共施設の利用頻度については「年に数回」とする回答が多く、各施設とも「月に数回」がそれに続いている。「年に数回利用している」施設としては「地区の公民館(集会所、区民会館等)」が38.2%、「市民会館」が24.9%、「図書館」が20.7%、公民館(中央・北部・西部・豊田)16.4%などとなっている。

一方、「利用していない」とする施設は「学校開放施設」が81.3%、「子育て支援センター(北部・中央・豊田)」が81.1%、「博物館」が77.7%などと、身近な「地区の公民館(集会所、区民会館等)」を除くと、利用頻度が低くなっている。

**公共施設を「年に数回」または「利用していない」と回答した方の利用していない理由
(総数 506、単位%)**

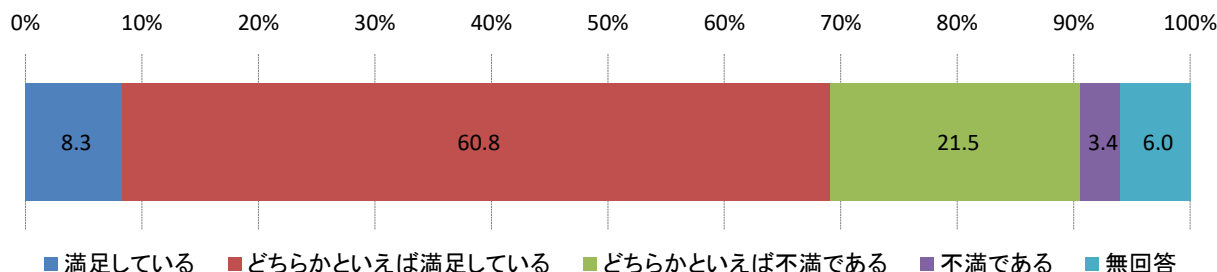


●公共施設を「年に数回」または「利用していない」と回答した理由については各施設とも圧倒的に「利用する機会がない」とする回答が多い。

その他として「施設自体を知らない」とする回答では「学校開放施設」が10.2%、「博物館」8.2%、「子育て支援センター」が7.6%となっている。

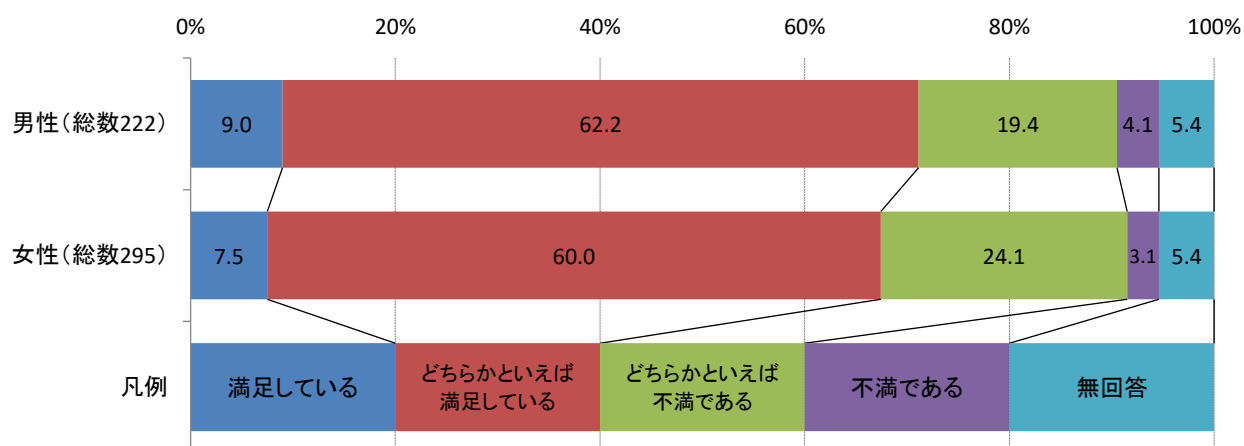
問8 中野市の行政サービス全般に対する、あなたの「満足度」について、あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)

中野市の行政サービスに対する全般の満足度(総数 615、単位%)



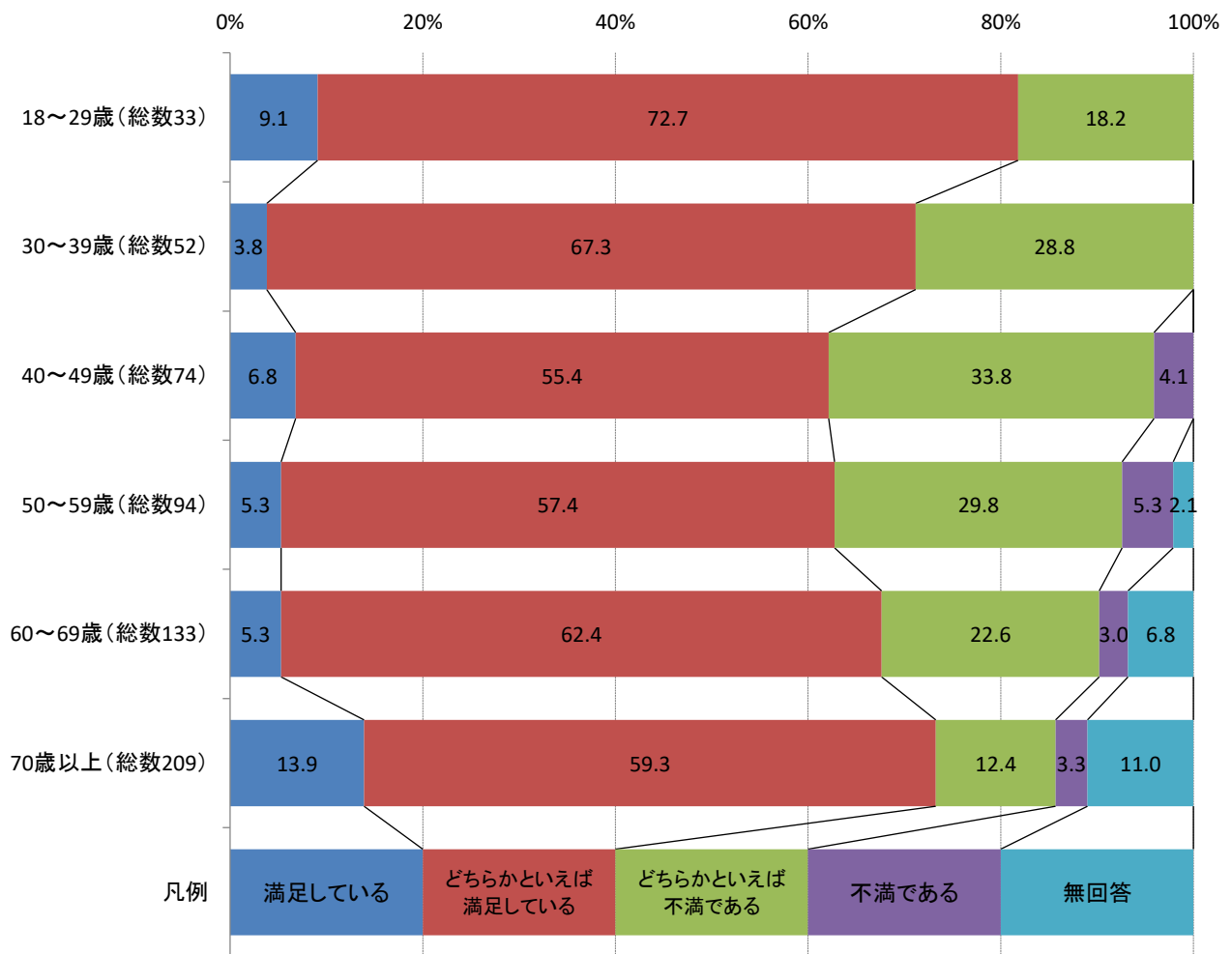
●「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせると、69.1%が満足と回答している。【前回調査(平成29年10月)】では、「満足している」10.0%、「どちらかといえば満足している」65.8%、「どちらかといえば不満である」18.4%、「不満である」3.4%、「無回答」2.5%となっていた。「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせると、前回調査と比べ6.7ポイントとなっている。】

男女別・中野市の行政サービスに対する全般の満足度(単位%)



●男性の方の満足度が高く、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると、男性が71.2%、女性が67.5%となっている。

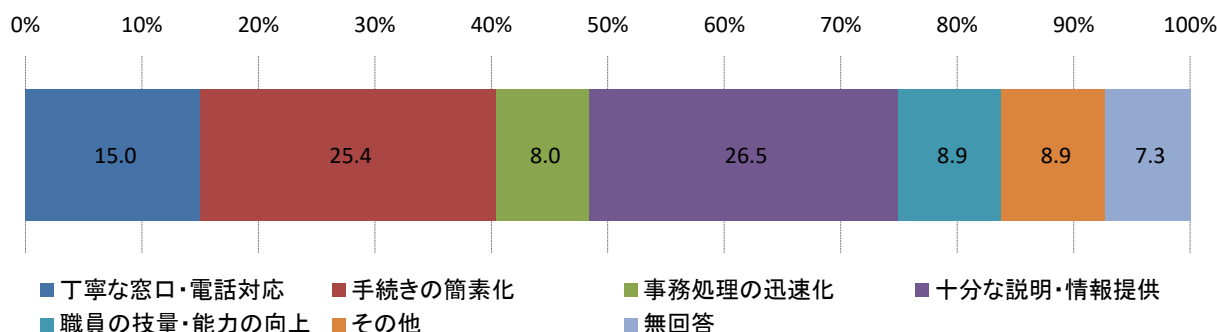
年齢別・中野市の行政サービスに対する全般的満足度(単位%)



●「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると、「18～29歳」が最も高く81.8%、次いで「70歳以上」73.2%、「30～39歳」71.1%、「60～69歳」67.7%、などとなっている。不満度がとくに高いのは「40～49歳」で、「どちらかといえば不満である」「不満である」を合わせると37.9%となっている。

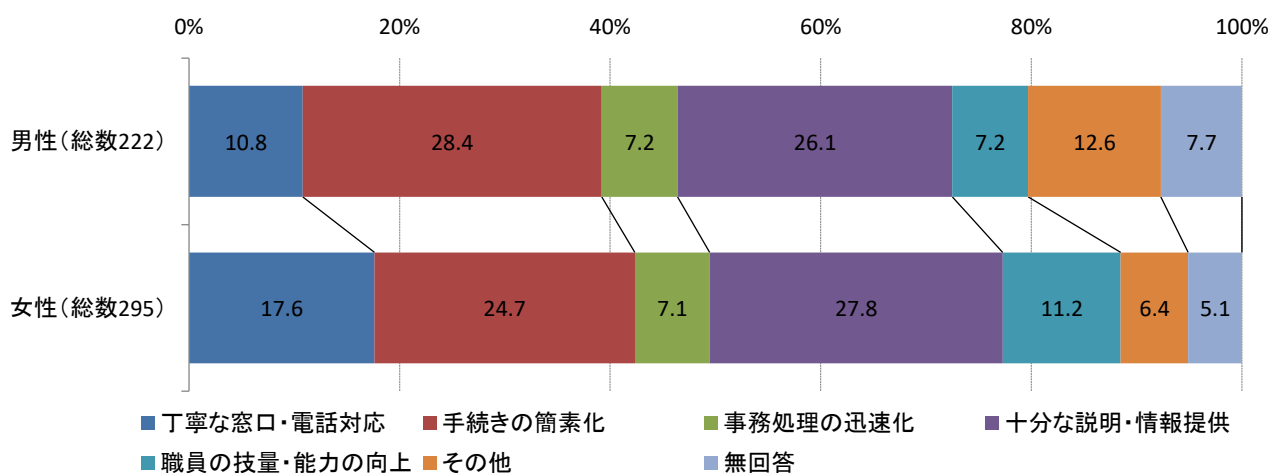
問9 あなたは中野市の行政サービスの向上に何を求めますか。あてはまるものに○をしてください。
(○は1つ)

中野市の行政サービスの向上に求めるもの(総数 615、単位%)



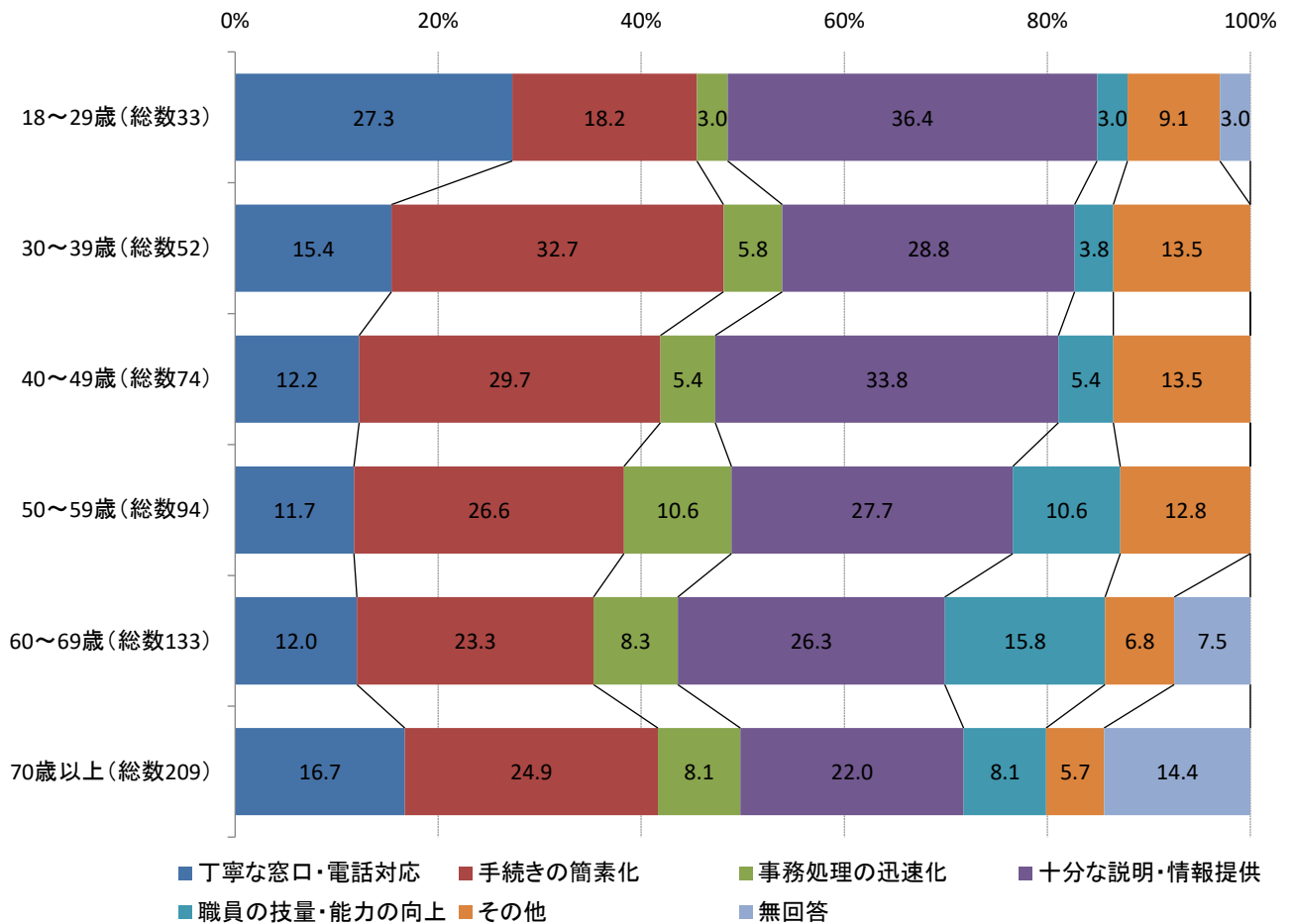
●「十分な説明・情報提供」が26.5%、「手続きの簡素化」が25.4%、「丁寧な窓口・電話対応」が15.0%などとなっている。【前回調査(平成29年10月)】では、「手続きの簡素化」が32.3%、「十分な説明・情報提供」24.7%、「職員の技量・能力の向上」14.7%、「丁寧な窓口・電話対応」14.1%などとなり、前回調査と比べ「十分な説明・情報提供」+1.8%、「手続きの簡素化」-6.9ポイント、「丁寧な窓口・電話対応」+0.9ポイント、「職員の技量・能力の向上」-5.8ポイントなどとなっている。】

男女別・中野市の行政サービスの向上に求めるもの(単位%)



●男性に比べ女性では、とくに「丁寧な窓口・電話対応」が17.6%で6.8ポイント高く、一方「手続きの簡素化」では28.4%と男性が3.7ポイント高くなっている。

年齢別・中野市の行政サービスの向上に求めるもの(単位%)

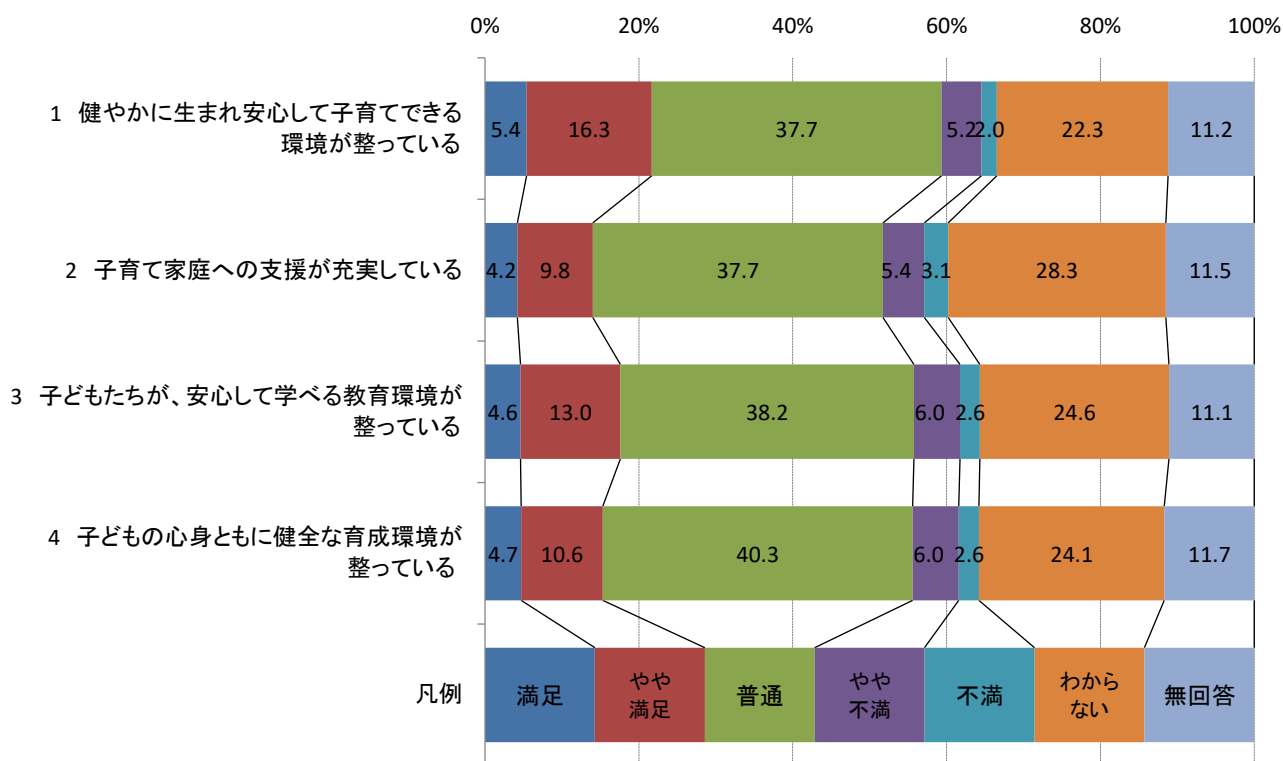


●「丁寧な窓口・電話対応」では「18～29歳」が27.3%、「70歳以上」が16.7%、「十分な説明・情報提供」では、「18～29歳」で36.4%、「40～49歳」で33.8%、「30～39歳」28.8%、「手続きの簡素化」では、「30～39歳」で32.7%、「40～49歳」で29.7%などとなっている。

問10 市の政策に対するあなたの満足度(実感)について、どの程度満足していますか。
それぞれの項目のあてはまるものに○をしてください。(○は1つ)

【子育て・学校教育について】

市政に対する満足度・【子育て・学校教育】(総数 615、単位%)



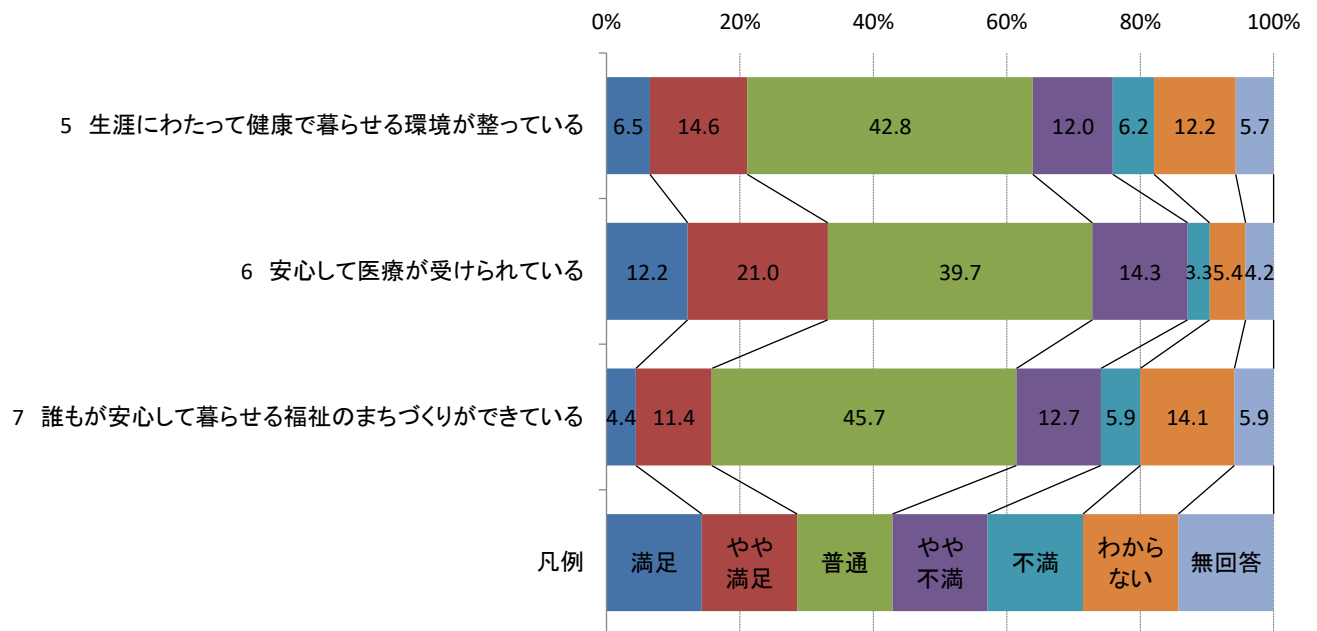
●どの項目も「普通」が30%台後半から40%台前半を占めている。「満足」「やや満足」を合わせると、「健やかに生まれ安心して子育てできる環境」への満足度が21.7%で最も高く、次いで「子どもたちが、安心して学べる教育環境」が17.6%、「子どもの心身ともに健全な育成環境」が15.3%などとなっている。

一方、「やや不満」「不満」を合わせると、「子どもたちが、安心して学べる教育環境」と「子どもの心身ともに健全な育成環境」が8.6%、「子育て家庭への支援が充実」が8.5%などほぼ同じ比率となっている。

子育て・学校教育の分野では、「わからない」とする回答も多く、市内での子育て・教育の経験しかない方が当然ながら多く、比較対照するものがなく判断に戸惑われているのかもしれない。

【健康・福祉について】

市政に対する満足度・【健康・福祉】（総数 615、単位%）



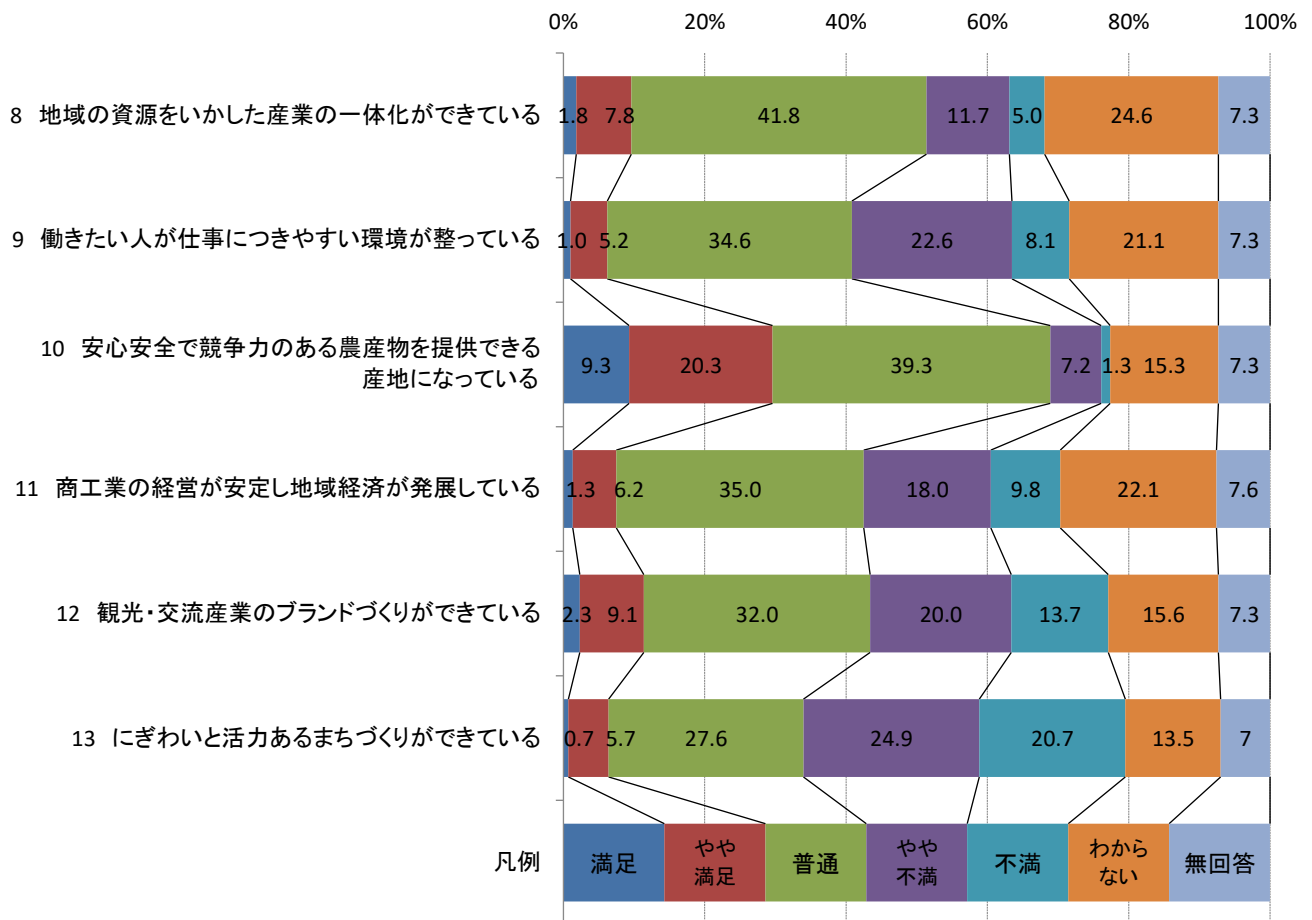
●どの項目も「普通」が40%台前後を占めている。「満足」「やや満足」を合わせると、「安心して医療が受けられている」が33.2%で最も高く、次いで「生涯にわたって健康で暮らせる環境」が21.1%、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」が15.8%となっている。

一方、「やや不満」「不満」を合わせると、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」が18.6%で最も高く、次いで「生涯にわたって健康で暮らせる環境」が18.2%、「安心して医療が受けられている」が17.6%となっている。

健康・福祉の分野で満足度が不満度を上回っているのは「生涯にわたって健康で暮らせる環境」と「安心して医療が受けられている」となっている。

【産業・経済について】

市政に対する満足度・【産業・経済】（総数 615、単位%）



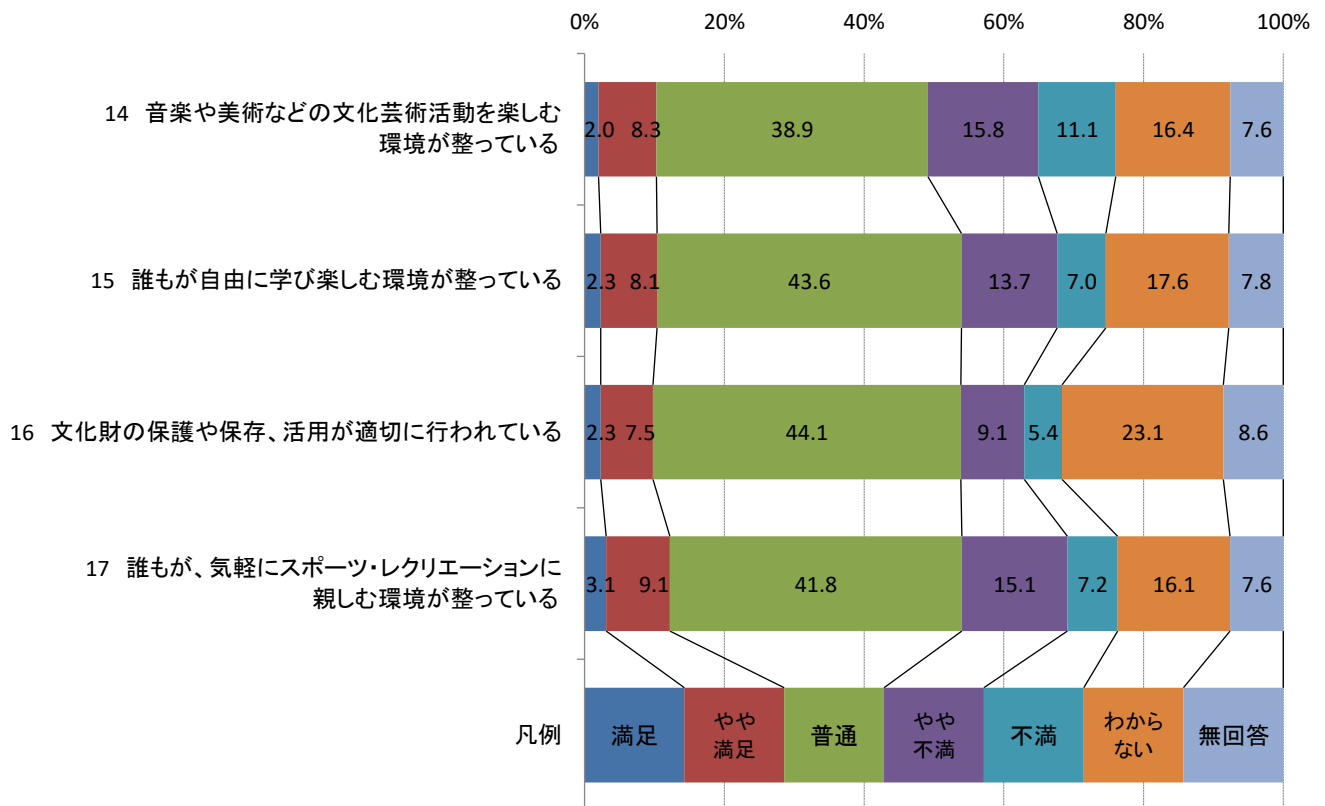
●項目ごとに評価が大きく異なっている。「満足」と「やや満足」を合わせると、「安心安全で競争力のある農産物を提供できる産地」が29.6%で最も高く、次いで「観光・交流産業のブランドづくり」が11.4%、「地域の資源をいかした産業の一体化」が9.6%などとなっている。

「やや不満」と「不満」を合わせた割合は「安心安全で競争力のある農産物を提供できる産地」以外の項目で全般に高くなっており、「にぎわいと活力あるまちづくり」が45.6%で最も高く、次いで「観光・交流産業のブランドづくり」が33.7%、「働きたい人が仕事につきやすい環境」が30.7%などとなっている。

満足度が不満度を上回っているのは、「安心安全で競争力のある農産物を提供できる産地」のみとなっている。

【文化・生涯学習について】

市政に対する満足度・【文化・生涯学習】（総数 615、単位%）



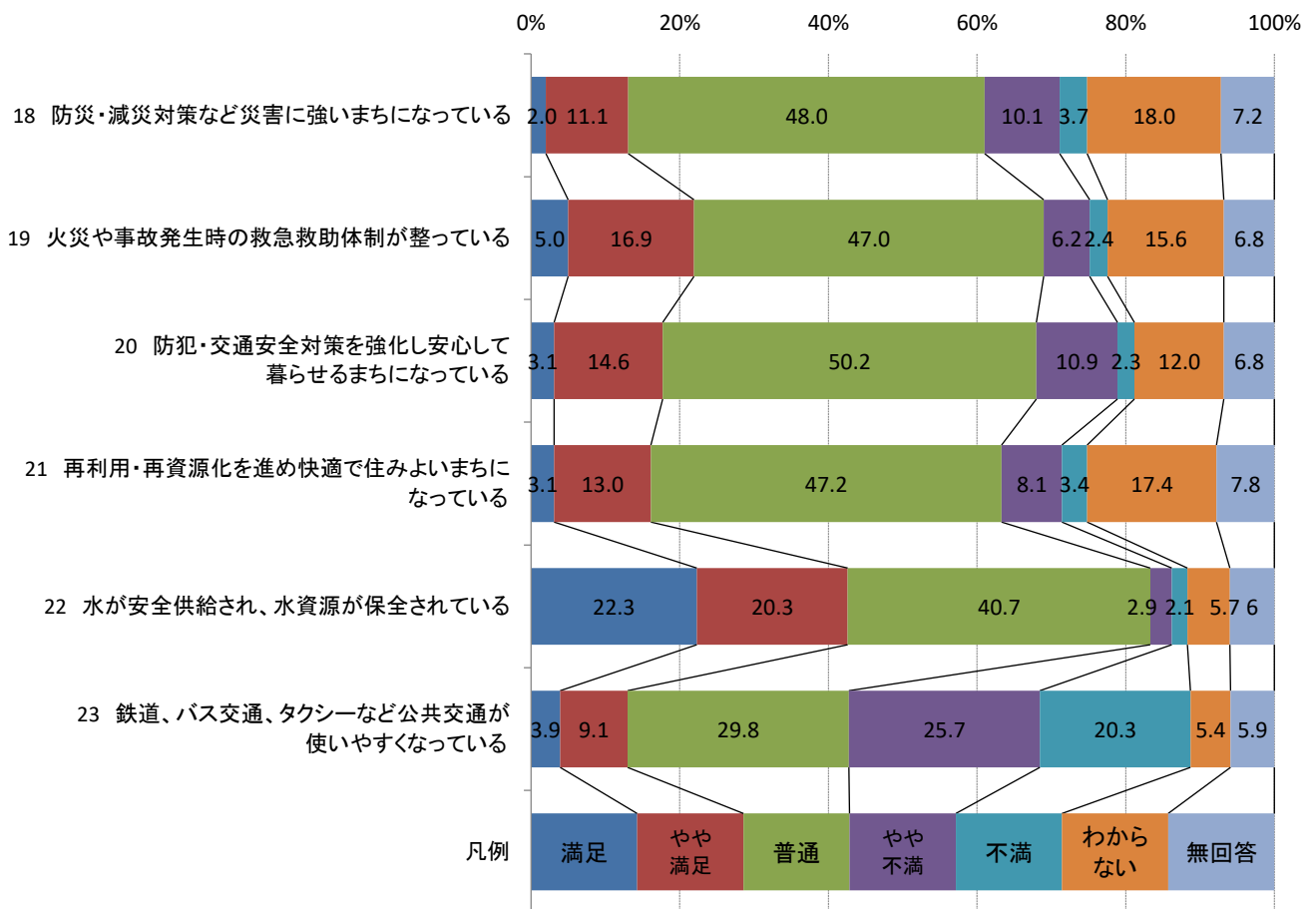
●どの項目も「普通」が30%後半から40%前半を占めており、いずれも不満の割合が満足の割合を上回っている。

「満足」と「やや満足」を合わせると、「誰もが、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむ環境」が12.2%で最も高く、次いで、「誰もが自由に学び楽しむ環境」が10.4%、「音楽や美術などの文化芸術活動を楽しむ環境」が10.3%などとなっている。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせると、「音楽や美術などの文化芸術活動を楽しむ環境」が最も高く26.9%で、次いで「誰もが、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむ環境」が22.3%、「誰もが自由に学び楽しむ環境」が20.7%、などとなっている。

【定住環境について】

市政に対する満足度・【定住環境】（総数 615、単位%）



●「鉄道、バス交通、タクシーなど公共交通」を除くといずれも「普通」が40%台、50%台と多くを占めている。

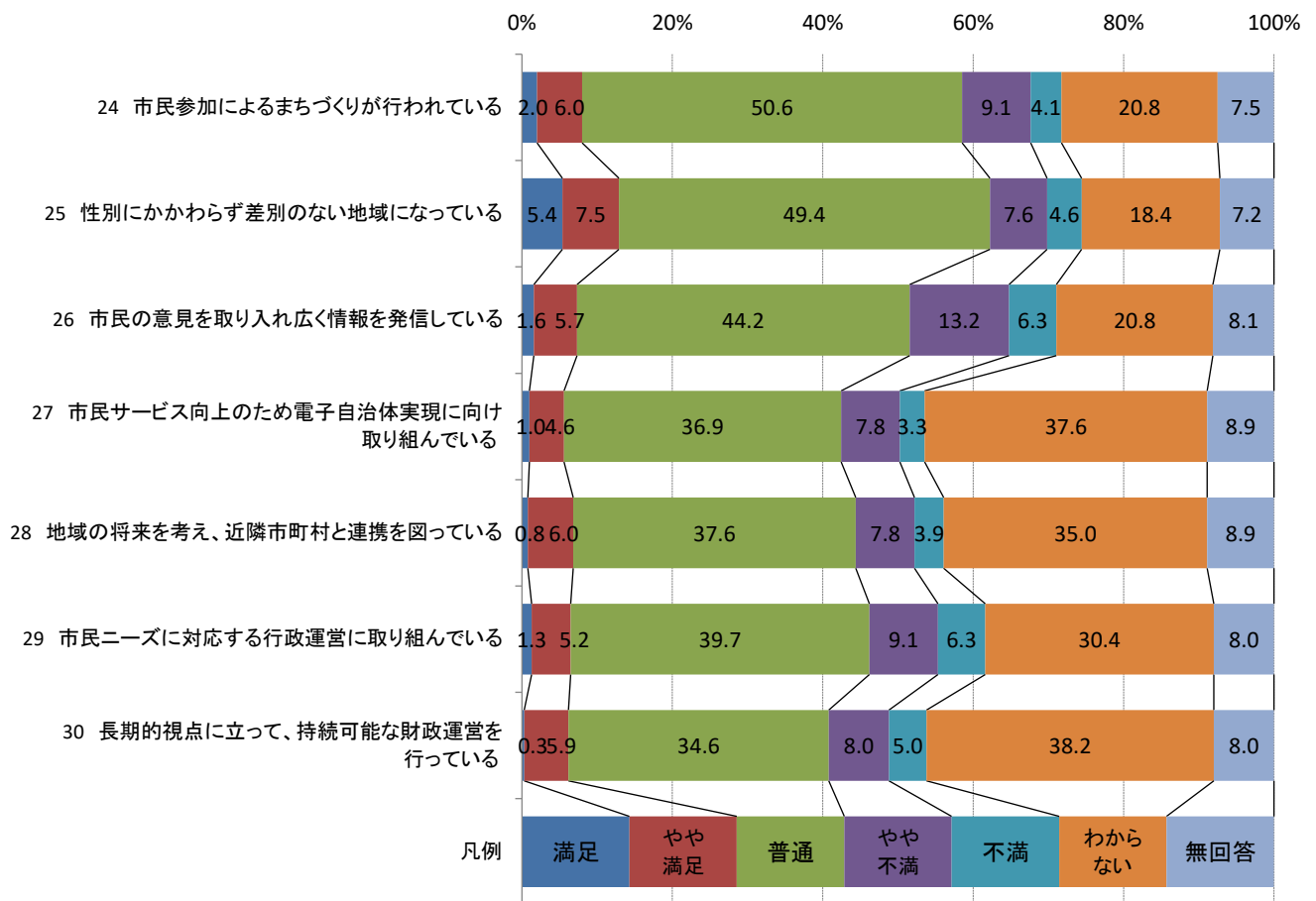
「満足」と「やや満足」を合わせると、「水が安全供給され、水資源が保全」が42.6%でとびぬけて高く（全分野中最高）、次いで、「火災や事故等発生時の救急救助体制」が21.9%、「防犯・交通安全対策を強化し安心して暮らせるまち」が17.7%などとなっている。

一方、「やや不満」「不満」を合わせると、「鉄道、バス交通、タクシーなど公共交通」がとびぬけて高く46.0%、次いで「防災・減災対策など災害に強いまち」13.8%、「防犯・交通安全対策を強化し安心して暮らせるまち」が13.2%などとなっている。

定住環境の分野では、満足度の高い「水が安全供給され、水資源が保全」と不満度の高い「鉄道、バス交通、タクシーなど公共交通」とがあり、いずれも市民にとって一番身近で関心の高い項目となっている。

【 協働・行政経営について 】

市政に対する満足度・【協働・行政経営】（総数 615、単位%）



●いずれも「普通」が多くを占めており、同時に「わからない」という回答が多くみられる。

「満足」と「やや満足」を合わせると、「性別にかかわらず差別のない地域」が12.9%で最も高く、次いで、「市民参加によるまちづくり」が8.0%、「市民の意見を取り入れ広く情報を発信」が7.3%などとなっている。

「やや不満」と「不満」を合わせると、「市民の意見を取り入れ広く情報を発信」が19.5%で最も高く、次いで「市民ニーズに対応する行政運営」が15.4%、「市民参加によるまちづくり」が13.2%などとなっている。

協働・行政経営の分野については実態を把握しにくいのか「わからない」とする回答の比率が全項目とも高いように思われる。

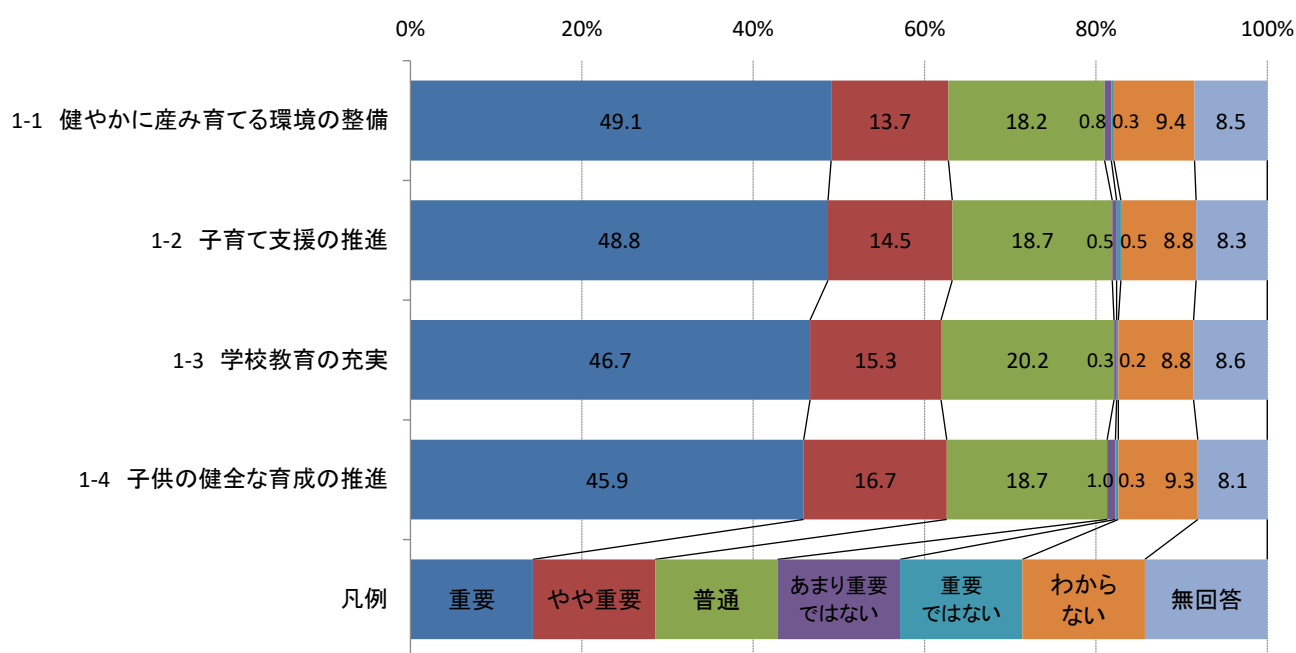
問 1 1 「第2次中野市総合計画 基本構想・前期基本計画(2016年度～2021年度)」では、地域の財産である豊かな自然と歴史・文化を守り、次代に継承するとともに、子育て・学校教育環境の充実、健康長寿のまちづくり、産業・雇用の創出に取り組み、人口減少の抑制に努め、活力ある持続可能なまちづくりを進めております。

あなたは、中野市がどのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。

市の政策に対するあなたの**重要度**について、それぞれの項目のあてはまるものに○をしてください。(○は1つ)

【 基本政策 1 未来のふるさとを担う子どもたちを育むまちづくり(子育て・学校教育) 】

市の政策の重要度【子育て・学校教育】 (総数 615、単位%)

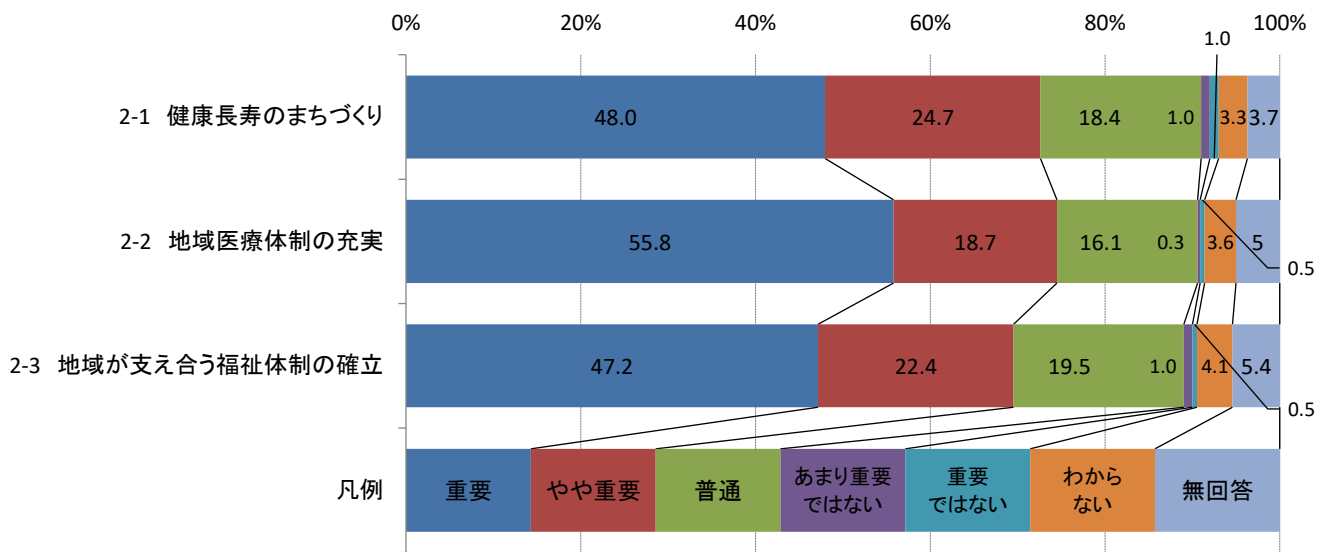


●「重要」と「やや重要」を合わせると、「子育て支援の推進」が 63.3%で最も高く、次いで「健やかに産み育てる環境の整備」が 62.8%、「子どもの健全な育成の推進」が 62.6%、「学校教育の充実」が 62.0%とほぼ拮抗している。

「あまり重要ではない」と「重要ではない」はごく少数で、「子育て・学校教育」への関心の高さが窺える。

【 基本政策2 支えあい健やかに暮らせる健康長寿のまちづくり(健康・福祉) 】

市の政策の重要度【健康・福祉】（総数 615、単位%）

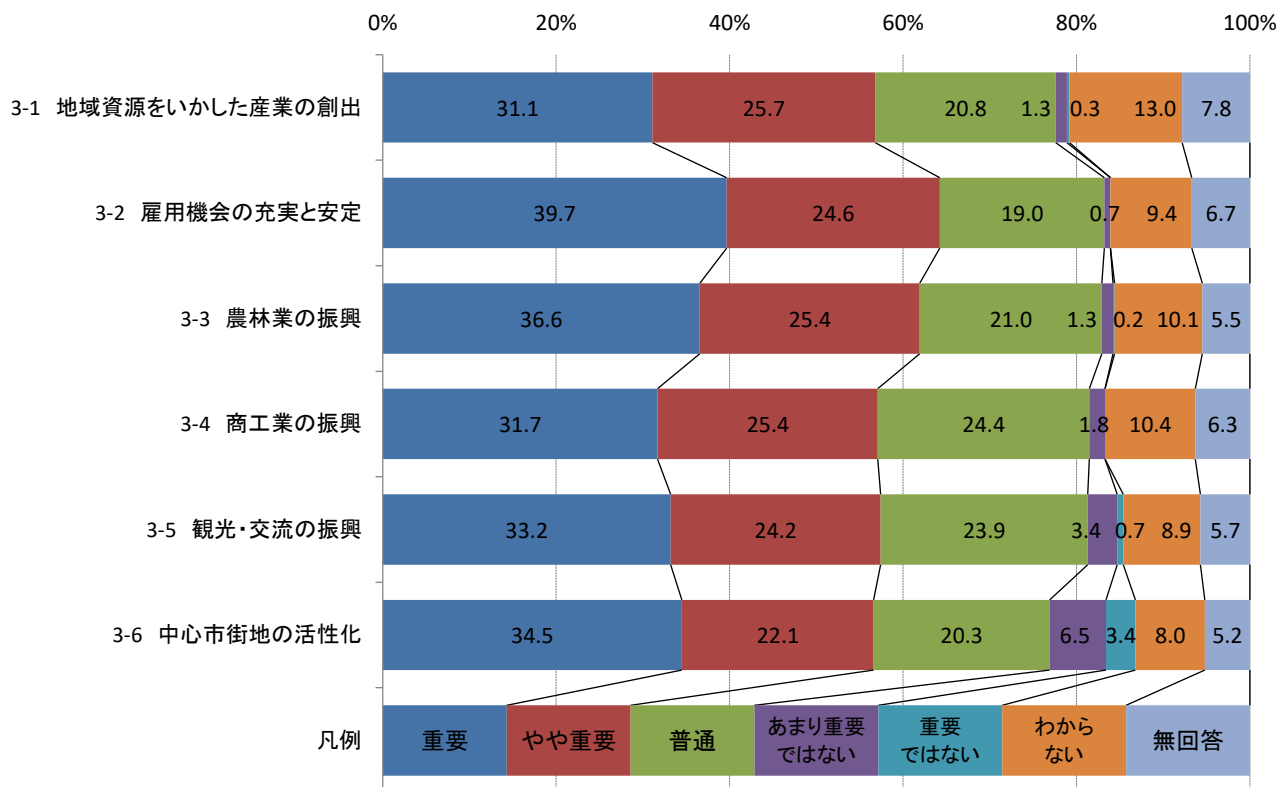


●「重要」と「やや重要」を合わせると、「地域医療体制の充実」が 74.5%で最も高く、次いで「健康長寿のまちづくり」が 72.7%、「地域が支え合う福祉体制の確立」が 69.6%となっている。

「あまり重要ではない」と「重要ではない」はごく少数で、「健康・福祉」についても市民の関心は高い。

【 基本政策3 にぎわいと活力あふれるまちづくり(産業・雇用) 】

市の政策の重要度【産業・雇用】（総数 615、単位%）

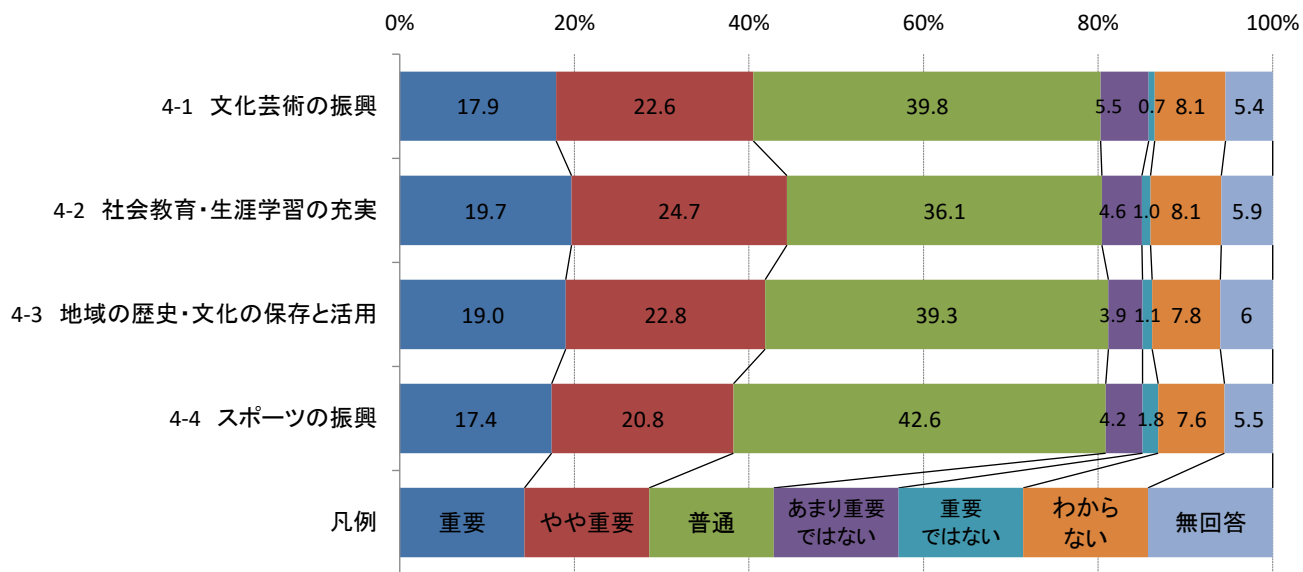


●「重要」と「やや重要」を合わせると、「雇用機会の充実と安定」が 64.3%で最も高く、次いで「農林業の振興」62.0%、「観光・交流の振興」57.4%、「商工業の振興」57.1%などとなっている。

「あまり重要ではない」と「重要ではない」では「中心市街地の活性化」に対して合わせて 9.9%が重要ではないとしているが、同じ項目の「重要」と「やや重要」を合わせると 56.6%となり上回っている。

【 基本政策4 ふるさとを学び育つ文化のまちづくり(文化・生涯学習) 】

市の政策の重要度【文化・生涯学習】(総数 615、単位%)

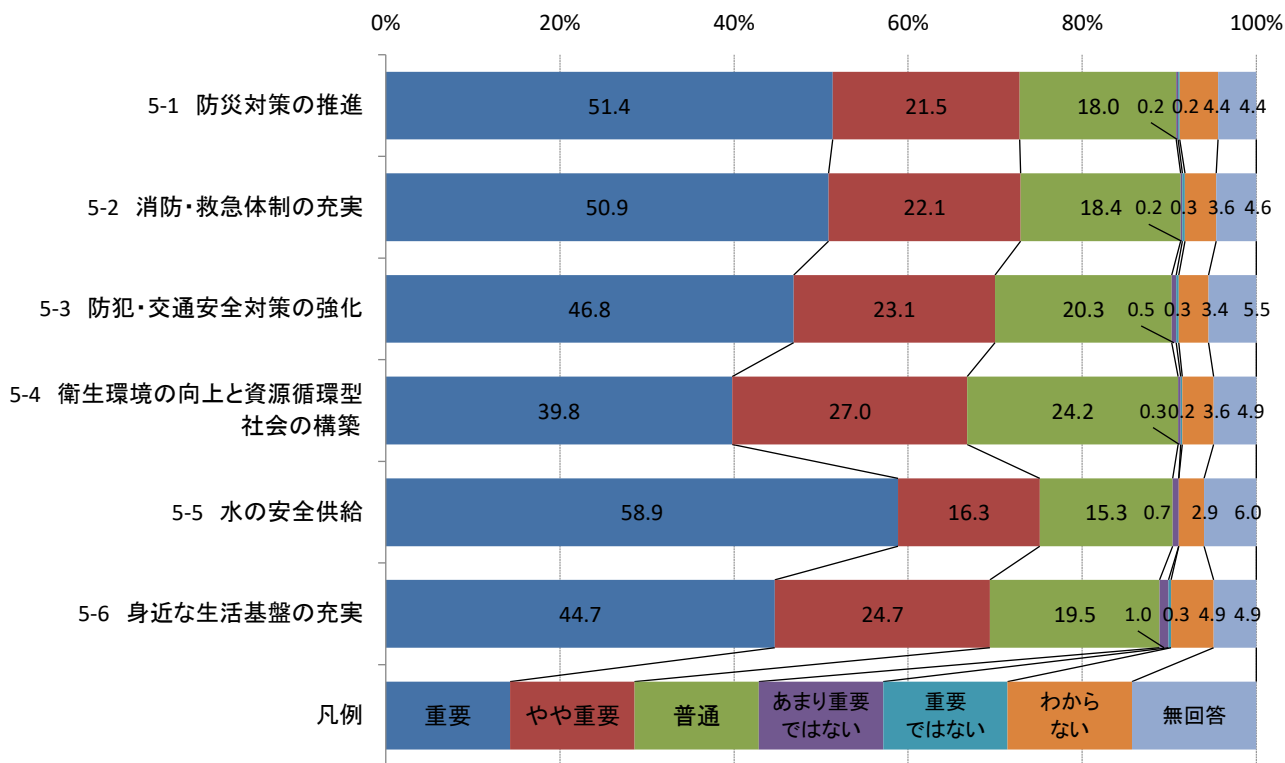


●どの項目も「普通」の比率が他の基本政策と比べ最も高くなっている。「重要」と「やや重要」を合わせると、「社会教育・生涯学習の充実」が44.4%で最も高く、次いで「地域の歴史・文化の保存と活用」41.8%、「文化芸術の振興」40.5%などとなっている。

ごく少数ではあるが「あまり重要ではない」、「重要ではない」という回答も見られる。

【 基本政策5 安心・安全な住みよいまちづくり(定住環境) 】

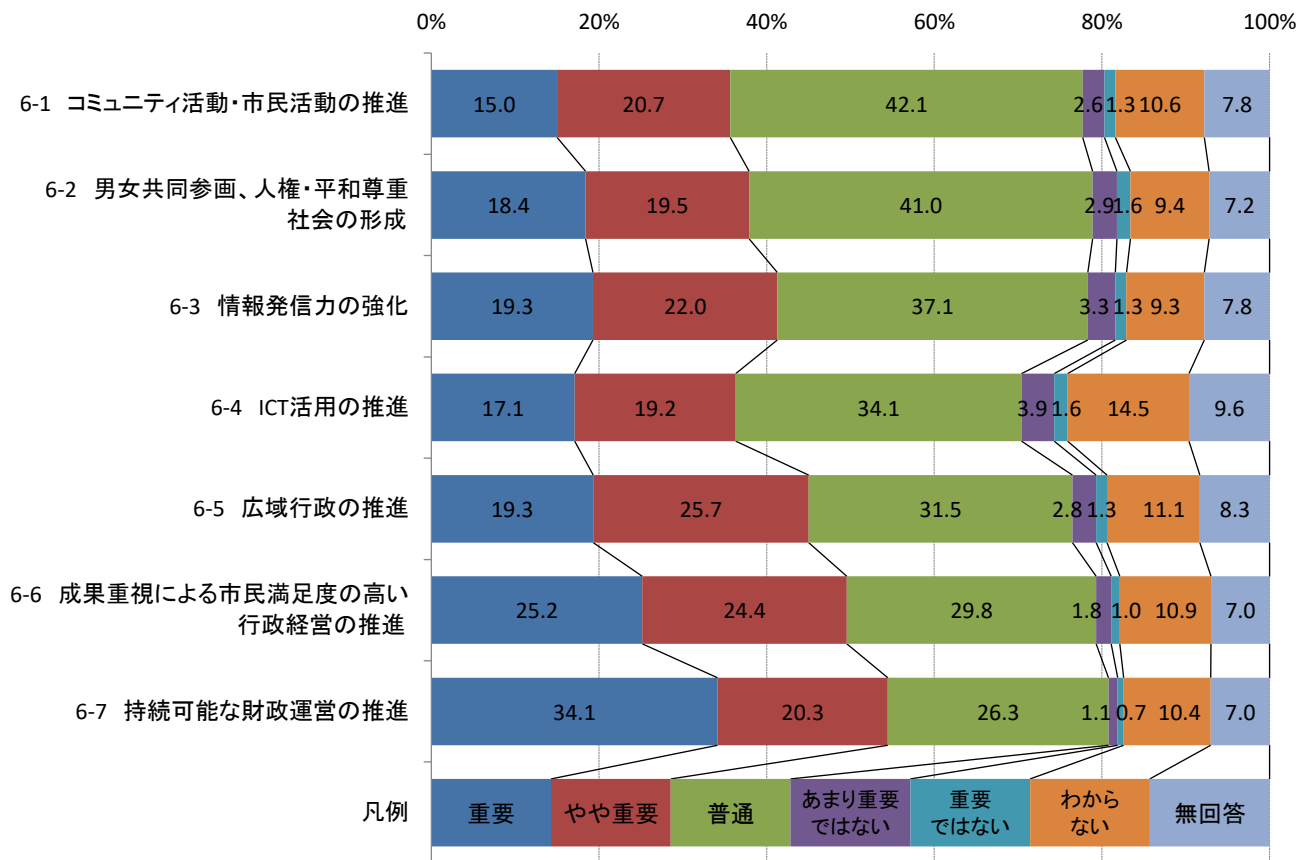
市の政策の重要度【定住環境】(総数 615、単位%)



●「重要」と「やや重要」を合わせると、「水の安全供給」が75.2%で最も高く、次いで「消防・救急体制の充実」73.0%、「防災対策の推進」72.9%、「防犯・交通安全対策の強化」69.9%などとなっている。
「あまり重要ではない」、「重要ではない」はごく少数となっている。

【 基本政策6 市民参加と協働のまちづくり(協働・行政運営) 】

市の政策の重要度【協働・行政運営】(総数 615、単位%)



●「持続可能な財政運営の推進」を除く項目でそれぞれ「普通」が最も多い回答となっている。「重要」と「やや重要」を合わせると、「持続可能な財政運営の推進」が54.4%で最も高く、次いで「成果重視による市民満足度の高い行政経営の推進」が49.6%、「広域行政の推進」45.0%などとなっている。

「あまり重要ではない」、「重要ではない」とする回答は少数であるが、この協働・行政経営の分野では、「わからない」との回答がいずれも10%台前後である。

表 1 満足度と重要度の評価点一覧

No.	満足度項目	評価点	重要度項目	評価点	分野
1	健やかに生まれ安心して子育てできる環境が整っている	0.17	健やかに産み育てる環境の整備	1.34	子育て・学校教育
2	子育て家庭への支援が充実している	0.11	子育て支援の推進	1.33	子育て・学校教育
3	子どもたちが、安心して学べる教育環境が整っている	0.17	学校教育の充実	1.31	子育て・学校教育
4	子どもの心身ともに健全な育成環境が整っている	0.14	子供の健全な育成の推進	1.29	子育て・学校教育
5	生涯にわたって健康で暮らせる環境が整っている	0.04	健康長寿のまちづくり	1.27	健康・福祉
6	安心して医療が受けられる	0.27	地域医療体制の充実	1.41	健康・福祉
7	誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりができています	-0.05	地域が支え合う福祉体制の確立	1.27	健康・福祉
8	地域の資源をいかした産業の一体化ができています	-0.15	地域資源をいかした産業の創出	1.08	産業・雇用
9	働きたい人が仕事につきやすい環境が整っている	-0.44	雇用機会の充実と安定	1.23	産業・雇用
10	安心安全で競争力のある農産物を提供できる産地になっている	0.38	農林業の振興	1.15	産業・雇用
11	商工業の経営が安定し地域経済が発展している	-0.41	商工業の振興	1.04	産業・雇用
12	観光・交流産業のブランドづくりができています	-0.44	観光・交流の振興	1.01	産業・雇用
13	にぎわいと活力あるまちづくりができています	-0.74	中心市街地の活性化	0.90	産業・雇用
14	音楽や美術などの文化芸術活動を楽しむ環境が整っている	-0.34	文化芸術の振興	0.60	文化・生涯学習
15	誰もが自由に学び楽しむ環境が整っている	-0.20	社会教育・生涯学習の充実	0.67	文化・生涯学習
16	文化財の保護や保存、活用が適切に行われている	-0.11	地域の歴史・文化の保存と活用	0.63	文化・生涯学習
17	誰もが、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむ環境が整っている	-0.19	スポーツの振興	0.55	文化・生涯学習
18	防災・減災対策など災害に強いまちになっている	-0.03	防災対策の推進	1.36	定住環境
19	火災や事故等発生時の救急救助体制が整っている	0.21	消防・救急体制の充実	1.34	定住環境
20	防犯・交通安全対策を強化し安心して暮らせるまちになっている	0.07	防犯・交通安全対策の強化	1.27	定住環境
21	再利用・再資源化を進め快適で住みよいまちになっている	0.06	衛生環境の向上と資源循環型社会の構築	1.16	定住環境
22	水が安全供給され、水資源が保全されている	0.65	水の安全供給	1.46	定住環境
23	鉄道、バス交通、タクシーなど公共交通が使いやすくなっている	-0.56	身近な生活基盤の充実	1.25	定住環境
24	市民参加によるまちづくりが行われている	-0.10	コミュニティ活動・市民活動の推進	0.56	協働・行政運営
25	性別にかかわらず差別のない地域になっている	0.02	男女共同参画、人権・平和尊重社会の形成	0.60	協働・行政運営
26	市民の意見を取り入れ広く情報を発信している	-0.24	情報発信力の強化	0.66	協働・行政運営
27	市民サービス向上のため電子自治体実現に向け取り組んでいる	-0.15	ICT活用の推進	0.61	協働・行政運営
28	地域の将来を考え、近隣市町村と連携を図っている	-0.14	広域行政の推進	0.73	協働・行政運営
29	市民ニーズに対応する行政運営に取り組んでいる	-0.23	成果重視による市民満足度の高い行政経営の推進	0.87	協働・行政運営
30	長期的視点に立って、持続可能な財政運営を行っている	-0.21	持続可能な財政運営の推進	1.04	協働・行政運営

【表1について】

① それぞれの評点は、次の通りとしました。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
評点	2点	1点	0点	-1点	-2点
重要度	重要	やや重要	普通	あまり重要ではない	重要ではない
評点	2点	1点	0点	-1点	-2点

② 評価点一覧上の各項目の評価点は、次のように求めました。

「わからない」「無回答」は除き、それぞれ満足度の評点に回答数を掛け、その値を「わからない」「無回答」を除く総回答数で割り算出しました(加重平均値)。表1に、それぞれの評価点を一覧にしてあります。表側の1~30は政策項目で、この番号が図1上の●印に付してあります。

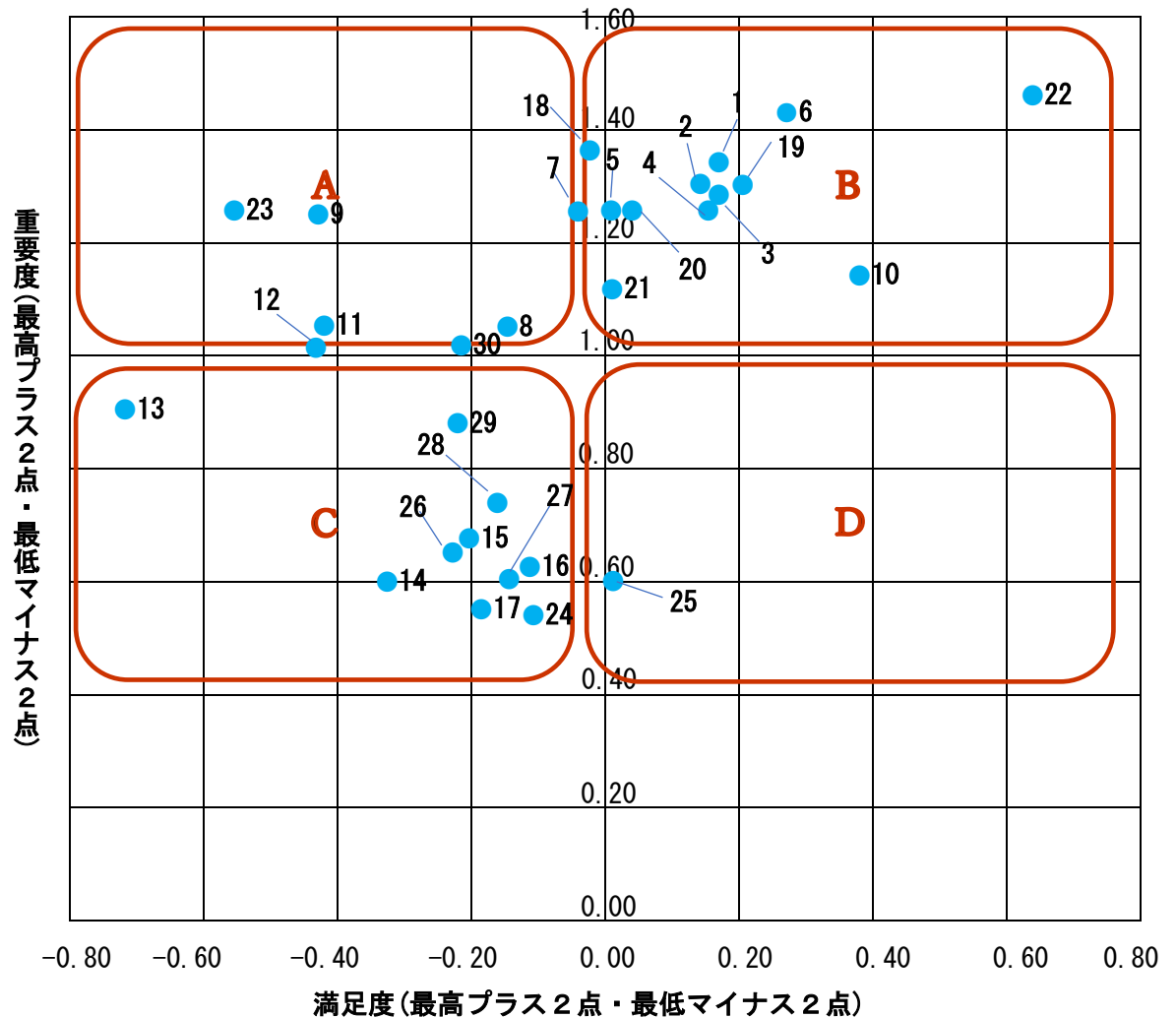
(計算例) 1 健やかに生まれ安心して子育てできる環境が整っている

満足	回答数	●●	票	2点	×	●●	=	○○○点
やや満足	回答数	●●	票	1点	×	●●	=	○○○点
普通	回答数	●●	票	0点	×	●●	=	○○○点
やや不満	回答数	●●	票	-1点	×	●●	=	○○○点
不満	回答数	●●	票	-2点	×	●●	=	○○○点

総合計 ○●● 票 ●●●●点
(加重平均値)

●●●●点(評点総合計) ÷ ○●● 票(回答数) = 評価点○○点(平均)

図1 市の政策の満足度と重要度の相関



【図1について】

市の政策項目 1～30 について、それぞれ満足度と重要度について評価点求め、グラフ上に●で示しました。グラフは、満足度を横軸、重要度を縦軸とし、それぞれ最高 2 点、最低－2 点となります。

【図1のA・B・C・D及び表2について】

図1は、おおまかにA・B・C・Dの4つのエリアに分けてみるができます。(A・B・C・Dエリアの境界は、満足度の平均値－0.08、重要度の平均値 1.03 としました)。

- A：満足度は低いが重要度は高い
- B：満足度も重要度も高い
- C：満足度は低いが重要度はそれほど高くはない
- D：満足度は高いが重要度はそれほど高くはない

A～Dにはそれぞれの政策項目の優先度に対応させることができます。

- A：早急な対応が求められる
- B：より強化することが期待される
- C：他政策との優先順位を考えて取り組む必要がある
- D：安定的な維持が期待される

これらに基づき、エリアごと(優先度ごと)に政策項目をまとめなおしたのが表2です。

表2 各政策項目の優先度

エリア	No.	重要度項目	分野
A 早急な対応が 求められる	7	地域が支え合う福祉体制の確立	健康・福祉
	8	地域資源をいかした産業の創出	産業・雇用
	9	雇用機会の充実と安定	産業・雇用
	11	商工業の振興	産業・雇用
	12	観光・交流の振興	産業・雇用
	23	身近な生活基盤の充実	定住環境
	30	持続可能な財政運営の推進	協働・行政運営
B より強化することが 期待される	1	健やかに産み育てる環境の整備	子育て・学校教育
	2	子育て支援の推進	子育て・学校教育
	3	学校教育の充実	子育て・学校教育
	4	子供の健全な育成の推進	子育て・学校教育
	5	健康長寿のまちづくり	健康・福祉
	6	地域医療体制の充実	健康・福祉
	10	農林業の振興	産業・雇用
	18	防災対策の推進	定住環境
	19	消防・救急体制の充実	定住環境
	20	防犯・交通安全対策の強化	定住環境
	21	衛生環境の向上と資源循環型社会の構築	定住環境
	22	水の安全供給	定住環境
C 他政策との優先順位を 考えて取組む必要がある	13	中心市街地の活性化	産業・雇用
	14	文化芸術の振興	文化・生涯学習
	15	社会教育・生涯学習の充実	文化・生涯学習
	16	地域の歴史・文化の保存と活用	文化・生涯学習
	17	スポーツの振興	文化・生涯学習
	24	コミュニティ活動・市民活動の推進	協働・行政運営
	26	情報発信力の強化	協働・行政運営
	27	I C T活用の推進	協働・行政運営
	28	広域行政の推進	協働・行政運営
	29	成果重視による市民満足度の高い行政経営の推進	協働・行政運営
D 安定的な維持が 期待される	25	男女共同参画、人権・平和尊重社会の形成	協働・行政運営